

令和4年度 中川区区政運営方針

令和4年5月

区のマスコットキャラクター



ナッピー



ハボン

目 次

1	はじめに	
(1)	区政運営方針について	1
(2)	区将来ビジョンについて	1
(3)	事業シートの記載について	2
(4)	SDGsに向けた取り組みについて	2
2	事業シート	
	「安心・安全きれいなまち」に向けた取り組み	
	施策1－1 地域防災力の向上	3
	施策1－2 防犯対策・交通安全対策の推進	10
	施策1－3 快適に暮らせる環境づくり	15
	「みんなにやさしいまち」に向けた取り組み	
	施策2－1 子育て環境の充実	18
	施策2－2 子ども・青少年の健全育成	28
	施策2－3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	33
	「魅力あふれるまち」に向けた取り組み	
	施策3－1 区民のふれあいと交流の推進	39
	施策3－2 まちの魅力の発掘・発信	41
	その他の取り組み	
	つながりづくりに向けた取り組み	51
	住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み	52
3	令和3年度の取り組み結果について	
(1)	将来ビジョンに掲げる成果目標の進ちょく状況	57
(2)	事業ごとの評価及び進ちょく状況	60
4	令和4年度の主な予算	
(1)	自主的・主体的な区政運営にかかる予算	63
(2)	区の特性に応じたまちづくり事業にかかる予算	63
5	区まちづくり基金	63
6	関係公署（所）の取り組み	64
7	区役所の組織及び連絡先	66

掲載している内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して作成しておりますが、感染拡大の状況を踏まえて、大幅に変更する場合があります。

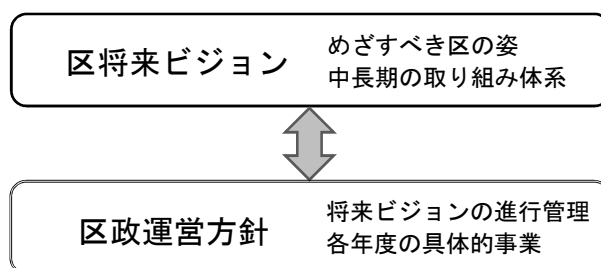
日時や場所など詳細については、適宜担当課にご確認いただきますようお願いいたします。

1 はじめに

(1) 区政運営方針について

区政運営方針は、区が実施する主な取り組みを年度ごとに皆さんにお知らせするものです。3 ページ以降に掲載する事業シートは、令和 2 年 5 月に策定した中川区将来ビジョンで示す取り組み内容（(2) の表をご参照ください。）に基づいて記載しています。

また、事業シートに加え、区将来ビジョンで定める成果指標の進ちょく状況等も併せて掲載しています。



(2) 区将来ビジョンについて

区将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすまちの姿を明らかにし、令和 2 年度から令和 5 年度までの 4 年間の中長期の取り組みを以下のとおり体系化したものです。

区 分		取り組み内容
め ざ す ま ち の 姿	安心・安全 きれいなまち	施策1-1 地域防災力の向上 施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進 施策1-3 快適に暮らせる環境づくり
	みんなに やさしいまち	施策2-1 子育て環境の充実 施策2-2 子ども・青少年の健全育成 施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
	魅力 あふれるまち	施策 3-1 区民のふれあいと交流の推進 施策 3-2 まちの魅力の発掘・発信
その他の取り組み※		1 つながりづくりに向けた取り組み 2 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

※将来ビジョン第 5 章に掲載する、めざすまちの姿の実現に向けた取り組み

(3) 事業シートの記載について

3 ページ以降に掲載する事業シートは、新型コロナウイルス感染症対策が必要な状況が続いた場合を想定して作成し、マスク着用の推奨や消毒、密集の回避などの基本的な感染対策をとったうえで実施する事業には「感染対策」のマークを付しています。また、不特定多数の方々が一か所に集まるため感染対策に特に力を入れる必要がある事業などについては、併せて具体的な対策の内容も記載しています。なお、感染状況等によっては、やむを得ず事業方法の見直し、縮小、中止とする場合があります。

(4) SDGs※に向けた取り組みについて

事業シート上では各事業に対して SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けたゴールを表示しておりませんが、めざすまちの姿に対応したゴールについては以下のとおり区将来ビジョンにおいて設定しております。

各事業の実施にあたっては、当該ゴールを意識して進めてまいります。

その1 安心・安全きれいなまち



その2 みんなにやさしいまち



その3 魅力あふれるまち



※SDGs とは、国連サミットで採択されたもので「誰一人取り残さない」ことを基本理念とし、17 のゴールを掲げる国際社会共通の目標です。

2 事業シート

めざすまちの姿 安心・安全きれいなまち 施策 地域防災力の向上

1. 令和4年度事業内容等

No.	1	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援	区分	継続
担当課		総務課	関係部署（所）	消防署ほか	
趣 旨		学区ごとに「地区防災カルテ※」を活用した話し合いを行う中で、次に取り組むべき防災活動を洗い出し、地域特性に応じた防災活動を検討していくことで、地域防災力を向上させる。			
事業予定		1 地域特性及び防災活動状況の把握 <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」の内容を更新し充実させていくことで、学区における地域の災害リスクや防災活動状況についての認識を深めるようにしていく。 2 地域特性に応じた防災活動の洗い出し <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行う中で、要配慮者への対応を始め、より学区が主体的に次に取り組むべき防災活動を洗い出せるよう、コロナ禍でも実施できる防災活動など具体的な活動事例を示しながら支援していく。			
計画目標		「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援の実施 全学区			

※地区防災カルテ

大規模災害に備え、よりきめ細やかな地域の防災活動を推進・支援していくため、地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、防災に関する情報を学区ごとにまとめたもの。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域避難行動計画（更新を含む）及び助け合いの仕組みづくりに着手するための支援の実施 全学区
実施内容	1 地域特性及び防災活動状況の把握 全学区において、学区の特性に応じた防災活動の実施などについて話し合いを行った。 2 災害（地震・風水害）時の適切な避難行動に係る計画の策定等 全学区において、地域避難行動計画の策定を完了するとともに、地域特性に応じた防災活動を検討した。
実績	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域避難行動計画の策定（更新を含む）及び助け合いの仕組みづくりに着手するための支援の実施 全学区
総括	「地区防災カルテ」を確認するなかで、全学区において地域特性の認識を深めることができた。さらに、半数程度の学区では主体的な防災活動の実施に向けた検討を行うことができた。 地域特性に応じた取り組みを洗い出すための話し合いがさらに進むよう、継続して支援していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	2	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた防災活動の実施	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署ほか		
趣 旨	学区ごとに「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行う中で、次に取り組むべき防災活動を洗い出し、地域特性に応じた防災活動を進めることで、地域防災力を向上させる。				
事業予定	・ 地域特性に応じた防災活動の実施 <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行う中で洗い出された課題に、より対応した防災活動を実施するため、必要に応じて関係部署と連携し支援していく。				
計画目標	地域特性に応じた防災活動の実施 各学区 1 回				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・ 指定避難所開設・運営訓練の実施 各学区 1 回 ・ 宿泊型訓練の実施 1 回
実施内容	・ 指定避難所開設・運営訓練等 「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行うなかで洗い出された課題に対応する防災活動を行った。
実績	・ 指定避難所開設・運営訓練の実施 各学区 1 回以上 ・ 宿泊型訓練の実施 4 回
総括	全学区において、小中学校など主な避難所となる施設の鍵や資機材の点検を行い発災時に備えることができた。さらに半数程度の学区では、より地域特性に応じた防災活動を実施することができた。 地域特性に応じた取り組みがさらに進むよう、継続して支援していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	3	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③講演会の実施を通じた地域防災活動の支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	—		
趣 旨	講演会を通じて、防災について考えるきっかけや学ぶ機会を提供していくことで地域特性に応じた防災活動の充実・活性化を図り、地域防災力を向上させる。				
事業予定	・ 防災講演会の実施 <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」を活用した話し合いの中などから顕在化してきた、地域における災害対策上、特に必要性が高いと思われる事項について、災害対策委員以外の地域団体の参加も促すなどして実施する。				
計画目標	防災講演会の実施 1回				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 各1回
実施内容	・ 防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 女性の視点にも配慮しながら幅広い世代を対象とした内容を盛り込んで2月4日に合同実施。
実績	防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 1回
総括	地域の災害対応の核となる災害対策委員などに対し、有用な知識を提供できたが、結果として男性の災害対策委員の参加が多くなった。 災害対策委員以外の方の参加も進むよう、実施方法について検討していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	4	事業名	「地域防災マネジメント事業」の推進に係る 消防署との連携	区分	継続
担当課		総務課	関係部署（所）	消防署	
趣 旨		消防署と連携し、「家庭及び地域の防災力」を詳細に捉えて、災害時に命を守る「自助」の取り組みを推進するとともに、町内会レベルで結成される「個々の自主防災組織」の活動活性化に向けた働きかけを実施する。			
事業予定		1 戸別訪問による防災用品を活用した意識啓発 <u>感染対策</u> 消防署とともに各家庭を訪問し、家具転倒防止対策の実施状況の聞き取り調査を実施。併せて防災対策を進めるきっかけとして、防災用品を後日配布し、家庭内における「命を守る」ための取り組みを強力に働きかけていく。 2 個々の自主防災組織への支援 <u>感染対策</u> 消防署が実施する、地域に密着した「個々の自主防災組織に対する活動支援」において、区役所も連携して推進する。			
計画目標		「戸別訪問」の実施 約 24,000 世帯（6 学区）			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	「戸別訪問」の実施 約 20,000 世帯
実施内容	1 戸別訪問による防災用品を活用した意識啓発 消防署とともに、常磐、荒子、正色学区の各家庭を訪問し、家具転倒防止対策の実施状況等を聞き取るとともに、必要な防災対策の啓発を実施した（後日、必要な防災用品を配布）。 2 個々の自主防災組織に対する活動支援 消防署が実施する、地域に密着した「個々の自主防災組織に対する活動支援」において、区役所も連携して推進した。
実績	「戸別訪問」の実施 約 20,000 世帯（3 学区）
総括	戸別訪問は、各家庭と直接話のできるまたとない機会である。区役所としてもこの機会を有効に活用し、自助の取り組みを推進していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	5	事業名	災害対応体制の強化	区分	継続
担当課		総務課	関係部署（所）	消防署ほか	
趣 旨		名古屋市災害対策本部の「区本部」として、市本部はもとより各関係機関と連携して、迅速かつ強力な災害対応にあたるために体制の強化を図る。			
事業予定		1 発災時初動シミュレーション訓練の実施 感染対策 発災当初必要となる対応について、区本部職員誰もが対応できるための手順等を検証し、今後の災害対応力の向上につなげるための訓練を実施する。 2 関係機関との連携訓練の実施 感染対策 地震及び風水害に対応した総合的な訓練として、出水期前の5月に総合水防訓練、9月の防災週間に総合防災訓練を実施し、関係機関及び災害救助地区本部（学区）との連携強化に努める。 また、区医師会等との協働により災害時医療救護所開設・運営訓練、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークとの協働により災害ボランティアセンター開設・運営訓練を実施する。			
計画目標		発災時初動シミュレーション訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練及び災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 各1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・災害対応図上訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練及び災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 各1回 ・防災安全調整会議の開催 1回以上
実施内容	1 災害対応図上訓練(DIG)の実施 被災地派遣職員による東日本大震災の発災状況の講話とともに、的確・迅速な職員の初動対応を図るための訓練を行った。 2 関係機関との連携訓練の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、災害時医療救護所開設・運営訓練は中止。総合水防訓練及び総合防災訓練は、住民参加型訓練については中止。災害ボランティアセンター開設・運営訓練に代えて、同センターに必要な資材の検討・配備を行った。 3 防災安全調整会議の開催 6月に、緊急時連絡先の確認及び各種情報共有を行った。
実績	・災害対応図上訓練の実施 1回 ・総合水防訓練、総合防災訓練の実施 各1回（住民参加型訓練は中止） ・災害ボランティアセンターに必要な資材の検討・配備 1回 ・防災安全調整会議の開催 1回
総括	総合水防訓練及び総合防災訓練は、訓練を通じて地域の防災意識の高揚を図ることができ、コロナ禍において学区の意向等も大きく影響することから、実施方法等をよく検討し、できる限りコロナ禍で実施できなかった住民参加型訓練も行うようにしていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	6	事業名	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト ～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業	区分	継続
担当課	総務課		関係部署（所）	民生子ども課	
趣 旨	南海トラフ地震や風水害等の大規模災害から子どものいのちを守るために、愛知県立大学と協働して保育園をモデルとした防災対策を策定・検証し、在宅の子育て家庭に対してセミナー等を開催する。				
事業予定	愛知県立大学と連携し各種研修を実施 1 子育て家庭向け防災研修 感染対策 「中川区子育て家庭の防災 BOOK」を活用した愛知県立大学との連携による子育て家庭向け防災研修の実施 2 施設向け防災対策研修の実施 感染対策 防災対策研修ビデオを活用した保育園等の施設における防災対策研修の実施				
計画目標	子育て家庭向け研修会の実施 1 回以上				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	防災対策セミナー及び学区防災対策研修の実施 1 回以上				
実施内容	愛知県立大学と連携し各種研修を実施 1 防災対策セミナーの開催 災害弱者対応研修（7月29日） 中川消防署職員 21名 災害時における弱者対応の課題、必要性を学習 2 学区防災対策研修の開催 五反田学区防災研修（7月11日） 五反田学区防災リーダー等 49名 地域特性にかかる災害時避難対応の課題等を学習 3 保育所防災対策研修の開催 たかばた保育園防災研修（7月29日、10月19日、26日、3月7日） 保育園職員 45名 モデル保育園での防災対策を参考に園独自の対応策の検討手順等を学習				
実績	・ 防災対策セミナーの開催 1 回 ・ 学区防災対策研修の開催 1 回 ・ 保育所防災対策研修の開催 4 回				
総括	モデル保育園の所在学区において地域特性の学習も含めた地域住民向け研修を行い災害弱者対応の必要性を認識してもらったほか、中川消防署との連携により新たな保育園での防災研修を実施するなど、愛知県立大学の事業連携の幅が広がった。 コロナ禍における子育て家庭への防災研修の代替の一つとして「中川区子育て家庭の防災 B00K」を区公式ウェブサイトにはアップできたが、実施できなかった子育て家庭向け研修については関係機関と実施に向け調整していく必要がある。 また、今後はさらに新たな保育園等の施設において独自に作成したビデオ等を生かした研修の実施を行う必要がある。				

1. 令和4年度事業内容等

No.	7	事業名	防災協力農地の登録・周知の推進	区分	継続
担当課		中川農政課	関係部署（所）	—	
趣 旨		大規模災害が発生した時に、一時避難空間や災害復旧用資材置場、火災延焼を防ぐオープンスペースとして活用できる防災協力農地の登録と周知を推進する。			
事業予定		1 受付窓口及び郵送物発送時の案内 農家へ郵送物を送る際や、生産緑地の追加指定や特定生産緑地の申請の際など、農地所有者に窓口で防災協力農地の説明を行い、登録の協力を仰ぐ。 2 特定生産緑地説明会での周知 特定生産緑地の説明会において、防災協力農地の制度の説明も併せて行い、農地所有者に防災協力農地の登録を呼びかける。			
計画目標		防災協力農地の年度末登録数 50 か所以上			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	防災協力農地の年度末登録数 50 か所以上
実施内容	1 受付窓口での案内（随時） 特定生産緑地への移行申請（1月24日～）や生産緑地の追加指定（3月1日～）の際など、農地所有者に窓口で制度の説明を行い、防災協力農地登録の協力を要請した。 2 特定生産緑地説明会での周知（12月13日開催） 特定生産緑地説明会において、制度の説明も併せて行い、農地所有者に防災協力農地登録の呼びかけを行った。
実績	防災協力農地の年度末登録数 47 か所
総括	新規登録は、生産緑地の追加申請に伴う1件にとどまった。 農地所有者の死亡等により登録が取り消されることもあるので、関係機関とも連携して、これまで以上に広報に力を入れ協力農地を確保する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	8	事業名	防犯対策の推進	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		啓発キャンペーンや犯罪発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。			
事業予定		1 啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> （１）広報活動・啓発キャンペーンの実施 生活安全市民運動期間（年４回）を中心に、警察署と連携して効果的な啓発キャンペーンを実施する。 （２）高校生と協働した啓発活動 高校生による区内商業施設でのキャンペーンの実施、犯罪別啓発用音声作成により、地域の防犯意識の向上につなげる。 （３）自転車ツーロック啓発動画を使用した啓発 自転車盗難多発地域において啓発動画を配布し、盗難の抑制につなげる。 2 犯罪状況に応じた啓発活動の実施 （１）犯罪予測AI※の活用 犯罪予測AIアプリを活用し、設定したルートのパトロール、活用学区での実態調査を行う。 （２）犯罪注意マップの作成 【新規】 警察署と連携し、１年間に発生した住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗の発生状況を各地域の地図に記載した「犯罪注意マップ」を作成し、各学区に配布するほか、区公式ウェブサイト公開する。			
計画目標		区内３高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 ３回			

※犯罪予測AI

名古屋市が犯罪抑止の取り組み支援のため活用しているAI（人工知能）による犯罪予測を用いた防犯パトロール支援アプリのこと。区役所その他、学区連絡協議会や名古屋市防犯ボランティア団体協定締結団体に提供している。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	- 青色防犯パトロールによる広報活動の実施 全学区 - 区内３高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 ３回
実施内容	1 啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> （１）広報活動・啓発キャンペーンを実施した。 （２）高校生と協働した啓発活動を行った。 （３）自転車ツーロック啓発動画を使用した啓発を行った。 2 犯罪状況に応じた啓発活動の実施 <u>感染対策</u> （１）青色防犯パトロールの実施 犯罪予測AIアプリを活用し、設定したルートのパトロールを行った。 （２）区内３高校および警察署との協働による啓発キャンペーンを実施した。
実績	- 青色防犯パトロールによる広報活動の実施 区内全学区 - 区内３高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 ３回
総括	全区一律で行っていたキャンペーン・啓発活動を、警察署との連携により犯罪別に増加した地域を対象に行った。 犯罪抑止を図るため、地域における防犯意識をより高める必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	9	事業名	地域における自転車パトロールの推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		自転車による自主的及び日常的な防犯パトロール活動の推進を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。			
事業予定		1 自転車パトロール隊の結成 <u>感染対策</u> 住宅対象侵入盗などの主要犯罪が多発している学区を対象に、自転車パトロール隊を結成し、自主的及び日常的な防犯パトロールを推進する。 2 結成学区における警察署による講話の開催 結成学区において住宅対象侵入盗件数が前年総件数より増加した場合には、自転車パトロール隊を対象とした講話を警察署と連携して行う。			
計画目標		・自転車パトロール隊新規隊員数 50 名 ・結成学区における住宅対象侵入盗年間件数 前年比減少			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	自転車パトロール隊新規隊員数 50 名
実施内容	1 自転車パトロール隊の結成 <u>感染対策</u> 住宅対象侵入盗などの主要犯罪が多発している学区を対象に、自転車パトロール隊を結成し、自主的及び日常的な防犯パトロールを推進した。 2 活動状況アンケートの実施 前年度に結成した自転車パトロール隊を対象としたアンケートを実施した。
実績	自転車パトロール隊新規隊員 50 名
総括	自転車パトロール隊の活動が住宅対象侵入盗の減少につながっている。 その一方で、結成以降、歳月が経過するとともに活動が形骸化してしまう懸念もあり、効果的で継続できる自転車パトロールの方法について検討していく必要がある

1. 令和4年度事業内容等

No.	10	事業名	交通安全対策の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における交通安全意識を高め、交通事故の抑止につなげる。			
事業予定		1 啓発キャンペーン等の実施 <u>感染対策</u> （1）啓発キャンペーン等の実施 交通安全市民運動期間（年4回）を中心に、交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し実施する。 （2）保育園児及び小中学生を対象とした交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 交通ルールを浸透させるため親しみやすく分かりやすい動画を制作し、交通安全教室での利用や教室の未実施園への配布を行う。警察署を招いて高齢者向けの交通安全講話を実施するほか、広報なごやを活用した啓発を行う。 （3）中川区マスコットキャラクター「ナッピー」を活用したイラスト付きの反射材の配布 家庭内から交通安全意識の向上を図るため、小学校入学児童に配布する。 2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 <u>感染対策</u> 交通事故件数が多い学区を「交通安全強化学区」として選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を実施する。			
計画目標		- 交通安全教室の実施 区内全学区（51回以上） - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	- 交通安全教室の実施 区内全学区 - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2回
実施内容	1 啓発キャンペーン等の実施 <u>感染対策</u> （1）啓発キャンペーン等の実施 （2）保育園児及び小中学生を対象とした交通安全教室や高齢者向け交通安全講話を実施した。 （3）中川区マスコットキャラクター「ナッピー」を活用したイラスト付きの反射材の配布 ヘルメットの購入と反射材の着用を促すため、小学校入学児童の保護者へ配布した。 2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 <u>感染対策</u> 交通事故件数が多く発生している学区を「交通安全強化学区」として選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を実施した。
実績	- 交通安全教室の実施 21学区 - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2回
総括	交通安全啓発について、過去に交通事故が複数回発生した場所や「交通安全強化学区」でドライバーや歩行者へ啓発活動を行うことができた。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、安全教室や安全講話の開催が減少した。今後は、感染拡大の状況下でも交通安全に対する知識を深め、啓発を行えるような方法を考える必要がある。 また、全ての保育園児及び小中学生教室に参加したり、全ての高齢者がふれあい給食会に参加したりするわけではないことから、保育園及び小中高生、高齢者に対する交通安全意識啓発方法を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	11	事業名	地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	警察署		
趣 旨	子ども自身が交通安全宣言を行うことで交通安全意識を高めるとともに、地域住民による見守り活動を推進することで子どもの交通事故の抑止につなげる。				
事業予定	1 小学生による交通安全宣言の実施 <u>感染対策</u> 6学区において、ゼロの日や交通安全教室と「交通安全見守り出発式」の同日開催が出来るよう工夫し、小学校の代表児童による交通安全宣言を行うとともに、児童を見守るため地域住民へ交通安全横断旗を配布する。開催にあたっては、校内テレビ放送の活用や参加者限定等のコロナ禍でも実施できる方法を小学校へ提案し実施する。 2 地域住民による見守り活動の実施 出発式等で配布した交通安全横断旗を活用し、地域住民が日常的に小学校の登下校時の見守り活動を行う。				
計画目標	地域住民による見守り活動の実施 6学区				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	地域住民による見守り活動の実施 6学区
実施内容	1 小学生による交通安全宣言の実施 <u>感染対策</u> 学区において、「交通安全見守り出発式」を実施し、小学校の代表児童による交通安全宣言を行うとともに、児童を見守るため地域住民へ交通安全横断旗を配布した。 「交通安全見守り出発式」開催にあたっては、校内テレビ放送の活用や参加限定等のコロナ禍でも実施できる方法を小学校へ提案し実施した。 2 地域住民による見守り活動の実施 出発式等で配布した交通安全横断旗を活用し、地域住民が日常的に小学校の登下校時の見守り活動を行った。
実績	地域住民による見守り活動の実施 6学区
総括	新型コロナウイルス感染拡大の状況においても、学校放送設備を利用して交通安全宣言を含めた「交通安全見守り出発式」や見守り活動を実施した。 交通安全意識を高めるため、今回、試行として出発式開催日とゼロの日や交通安全教室と同時開催した。1日を通して子どもの交通安全意識をたかめることができた。 一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出発式を実施できなかった学校があった。 今後は、出発式について新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとり、6学区全体で開催できるよう検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	12	事業名	自転車乗車時のヘルメット着用推進	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	警察署		
趣 旨	「自転車ヘルメット広め隊」による啓発活動を通じて、自転車乗車時のヘルメット着用に対する意識を高め、自転車の交通死亡事故の抑止につなげる。				
事業予定	1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 <u>感染対策</u> 9月（仮）に交通安全強化学区指定学区内で委嘱及び警察署による交通安全講話を実施し、自転車運転の正しい知識やヘルメット着用について周囲の方々へ日常的に呼びかけてもらう。 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 12月（仮）警察署と連携して、ヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを区内の集客施設や自転車利用者が多い交差点、駅付近などで実施する。 3 交通安全教室におけるヘルメットの着用啓発 <u>感染対策</u> 保育園児及び小中学生を対象として、交通指導員からヘルメットの重要性を伝え、着用に対する区民の意識転換を図る。				
計画目標	・自転車ヘルメット広め隊隊員 140名（累計） ・交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発 区内全学区				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	自転車ヘルメット広め隊隊員（累計）120名
実施内容	1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 <u>感染対策</u> 令和3年9月に常磐コミュニティセンターで開催した。 委嘱と併せて警察署による自転車に関する交通安全講話を隊員に受講してもらい、自転車乗車時の正しい知識を学んでもらうことができた。 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 令和3年12月に警察署と連携して、ヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを八田駅付近で実施した。
実績	自転車ヘルメット広め隊隊員（累計）120名
総括	条例により令和3年10月1日（金）から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されたことに合わせて、令和3年9月29日（水）に「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱と交通安全講話と合わせて行えたことは隊員の意識を高めることにつながり、大変良かった。 努力義務化以降、本市の自転車ヘルメット購入補助金を活用してヘルメットを購入される方は増加した。その一方で、まだ、街中で自転車乗車時にヘルメットを着用している人は少ない。 自転車乗車時のヘルメット着用の重要性を伝えるため、今後も引き続き広め隊の対象地域を広げ、隊員による地域への着用の重要性の認識を広めるとともに効果的な啓発活動を行い、着用に対する意識転換を図る必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	13	事業名	クリーンキャンペーンの実施	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	環境局、環境事業所、土木事務所	
趣 旨		地域住民・ボランティア・事業所との協働のもと「町を美しくする運動」として道路や公園などの清掃活動を実施することで、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。			
事業予定		1 クリーンキャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 全市一斉クリーンキャンペーン（6月4日）にあわせ、学区・ボランティア・事業所・区役所が協議して、地域でゴミが目立つ道路や公園などを選び、清掃活動を実施する。 2 プロギング※ツアーの開催（中川区内）<u>感染対策</u> 【新規】 新たな清掃活動の一環として区の魅力の発見・発掘も兼ねたプロギングを、区内で開催する。			
計画目標		・クリーンキャンペーンの実施 区内全学区 ・プロギングツアーの開催（中川区内）			

※プロギング

ごみ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合わせたスウェーデン発のスポーツ。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	クリーンキャンペーンの実施 区内全学区
実施内容	・クリーンキャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 新型コロナウイルス感染症の影響により、6月から秋に延期されていた全市一斉クリーンキャンペーンが中止となったが、区独自のクリーンキャンペーン事業として中央会場として選定していた学区の地域住民とともに清掃活動を行った。 - また、新たな清掃活動の一環としてプロギングツアー名古屋として、環境局事業部作業課と連携し、中川運河周辺のプロギングを開催した。
実績	クリーンキャンペーンの実施 区内0学区（代替あり）
総括	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、クリーンキャンペーンが全市的に中止となった中、区独自で地域住民とともに規模を縮小するなど工夫して清掃活動を実施することができた。 その一方で、クリーンキャンペーンの清掃活動がいつも同じ道路や公園で行われるなど活動の形骸化の問題や、2年間クリーンキャンペーンが行われなかったことにより市民・事業者・行政協働のもと、「町を美しくする運動」の意識づけが薄れてきているなどの問題が危惧される。 今後は、「町を美しくする運動」を広めるため、地域や関係機関と協力し、クリーンキャンペーン時の清掃活動場所について検討したり、参加しやすいイベントを連携して開催したりするなどして新たな参加者を増やし、快適で住みやすい地域づくりにつなげる必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	14	事業名	空地・空家等の適切な管理の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	中村保健センター、土木事務所、環境事業所、消防署	
趣 旨	管理の不適切な空地・空家及び堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼することで、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。				
事業予定	1 空地の適切な管理 <u>感染対策</u> 空地の雑草等に関する申し出には迅速に実態調査・対応を実施し、年2回、解決していない案件について現地確認を実施し、必要に応じて雑草処理勧告書を送付するなど再度適切な管理を依頼する。 2 空家等の適切な管理 <u>感染対策</u> 区空家等対策会議開催により関係部署で情報共有し、管理の不適切な空家等の所有者等に適切な管理を依頼する。4か月ごとに解決していない案件の現地確認を実施し、必要に応じて再度適切な管理について依頼する。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 <u>感染対策</u> 関係部署で情報を共有するとともに、堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼し、堆積者への援護が必要な場合には経済的支援制度の活用及び福祉部門などと連携して事態の根本的な解決を図る。				
計画目標	・区空家等対策会議の開催 4回 ・空地及び空家等解消率 35%以上				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	区空家対策会議の開催 4回
実施内容	1 空地の適切な管理 <u>感染対策</u> 空地の雑草等に関する申し出には迅速に実態調査・対応を実施し、年2回、解決していない案件について現地確認を実施し、必要に応じて雑草処理勧告書を送付するなど再度適切な管理を依頼した。 2 空家等の適切な管理 <u>感染対策</u> 区空家等対策会議開催により関係部署で情報共有し、管理の不適切な空家等の所有者等に適切な管理を依頼した。4か月ごとに解決していない案件の現地確認を実施し、必要に応じて再度適切な管理について依頼した。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 <u>感染対策</u> 随時、関係部署で情報を共有するとともに、連携して堆積物により不良な状態にある住居の所有者等を訪問するなどして、適切な管理を依頼した。
実績	区空家対策会議の開催 4回
総括	相談を受けた時に関係部署間で連携し、所有者等への適切な管理依頼を行い、相談受付の一部は問題の解消につなげることができた。また、中川区の関係機関での所有者等の情報共有を行い、今後の連携強化を図ることができた。 定期的に実態調査を行い、空地・空家等の現状把握に努めた。所有者等へ対応依頼を行い、状況の改善に向けて働きかけを行った。再度の働きかけで解消された案件もあり、今後も定期的な実態調査と対応を実施していく必要がある。 一方で、依頼に応じない所有者も依然として存在し、関係部署との連携や特定空家制度や経済支援制度の活用など、より専門的な機関へつなげる必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	15	事業名	ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	区分	継続
担当課		保健センター健康安全課	関係部署（所）	—	
趣 旨		犬猫の飼主等を対象に、飼い方などに関する個別の指導を行うとともに、ペットの災害対策の視点から日頃のしつけの重要性についても啓発していく。 また、看板など啓発資材の作成・配布、キャンペーンや巡回パトロールなどの様々な啓発活動を実施して、犬猫とともに暮らす快適なまちをめざす。			
事業予定		1 犬猫の飼主等への指導・助言 感染対策 個別の苦情・相談については飼主等への指導・助言を実施する。さらに、名古屋市動物愛護推進員と協働し、防災訓練や区民まつり等市民と接する機会を通じて、ペットの災害対策の一環として日頃のしつけの重要性を啓発する。防災訓練等イベントに参加しなかった人もいつでも閲覧できるよう区公式ウェブサイトにて啓発資料を公開する。 2 キャンペーン・巡回パトロール等の啓発活動 感染対策 地域住民の協力による啓発キャンペーンや巡回パトロール活動、区民まつり等の機会を活用した啓発活動、犬のフンの持ち帰りや猫に対する無責任な餌やり防止等に関するチラシの回覧、看板など啓発資材の作成・配布等を実施する。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 猫忌避装置の貸出や犬猫用名札の配布、避妊・去勢・マイクロチップ装着の補助券の交付、のら猫対策活動の支援及び周知等を実施する。			
計画目標		キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 15 回			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 22 回
実施内容	1 犬猫の飼主等への指導・助言 個別の苦情・相談への対応として飼主等へ指導・助言を実施した。ペットの災害対策の一環である日頃のしつけの重要性の啓発は、中止となった水防訓練の代わりとして公開した区公式ウェブサイトにて実施したほか、春田学区自主防災訓練で名古屋市動物愛護推進員と連携して講習を実施した。 2 キャンペーン・巡回パトロール等の啓発活動 総合防災訓練や区民まつりの中止及び狂犬病予防集合注射開催回数の縮小により啓発機会が減少したため、巡回パトロール回数を増やした。犬のフンの持ち帰りや猫に対する無責任な餌やり防止等に関するチラシの回覧、看板など啓発資材の作成・配布等は要望に応じて実施した。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 猫忌避装置の貸出や犬猫用名札の配布、避妊・去勢・マイクロチップ装着の補助券の交付、のら猫対策活動の支援及び周知等を実施した。
実績	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 11 回（代替あり）
総括	大規模なイベントでの啓発中止の代替として、区公式ウェブサイトでの資料公開に加え、巡回パトロールの回数を増やした。巡回パトロールは啓発できる人数が限られているため、効率よく啓発できる方法を他にも探す必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	16	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	拡充
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報を入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。			
事業予定		- 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の改修 【拡充】 子育て家庭の実情を踏まえ、スマホ最適化や操作性の向上等、子育て支援情報サイトをより活用しやすいよう改修を行い、情報提供の充実を図る。 - 紙媒体での子育て支援情報の提供 子育てサイトを利用しにくい家庭などにも情報提供できるよう、年2回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成し、配布する。 - 区役所内のキッズコーナーを活用した情報提供 区役所内キッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架する。 - 保育案内人の出張相談 <u>感染対策</u> 子育てサロンや地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等への利用を希望する保護者等の相談に対応する。			
計画目標		区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 80,000 回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	保育案内人の出張相談 24 件
実施内容	- 子育て情報チラシ等の作成及び提供 紙媒体での情報提供として、年2回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成し、区役所窓口や各関係機関で配布することで、区民に広く提供できるよう努めた。 - ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用を行い、急なイベントの変更等、タイムラグの少ない情報提供を行うとともに、コロナ禍においても地域の子育てサロンや保育所等の情報を広く発信することができた。 - 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子ども連れの来庁者に子育て情報を提供するキッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架した。 - 保育案内人の出張相談 子育てサロン12件、地域子育て支援拠点2件に保育案内人を派遣し、参加した保護者の保育所等に関する相談対応を実施した。
実績	保育案内人の出張相談 14 件
総括	コロナ禍において、子育てサロンや地域子育て支援拠点が縮小、中止となる中、保育案内人の出張相談は思うように実施できなかった。 一方、コロナ禍においても様々な子育て支援のニーズは高く、子育て支援サイトを中心に広く情報の発信ができた。 今後は、より広く効果的な情報発信について検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	17	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課 関係部署（所） —				
趣 旨	面接や家庭訪問をととして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。				
事業予定	1 妊婦面接の実施 <u>感染対策</u> 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方々に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。 2 新生児・乳児訪問の実施 <u>感染対策</u> 出生報告の提出された新生児・乳児と産婦とその家族が、育児不安を軽減し安心して育児に取り組めるよう、3（4）か月児健診までの乳児早期に、保健師・助産師が家庭訪問で相談対応、支援する。				
計画目標	・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%				

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%
実施内容	1 妊婦面接 安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援するために、保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施した。 2 新生児・乳児訪問 産婦やその家族が育児不安の軽減をはかり安心して育児に取り組めるよう、出生報告を提出された家庭に、保健師・助産師が3（4）か月児健診までの間に家庭訪問を実施した。
実績	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 94.9%
総括	妊婦面接は100%できており、妊娠期からの支援ができている。 新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期里帰りする方や訪問拒否をされる方もみられた。令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した訪問の実施と関係機関との連携のもと、支援方法の検討をしつつ実施していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	18	事業名	中川区シェアブックス事業	区分	新規
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	中川図書館、富田図書館、保健センター保健予防課、中川児童館		
趣 旨	子育てサロンでの絵本の活用や、読み聞かせの実施、乳幼児健診時の紹介などを通して、赤ちゃんともわりの人が絵本を介して心を通わせるきっかけとなる体験を提供する。				
事業予定	1 子育てサロン等での絵本に触れる機会の提供 感染対策 子育てサロンの開催場所や区役所、児童館等に0歳児向けの絵本を設置し、子育てサロン開催時等に絵本に親しむ機会を提供する。 2 読み聞かせボランティアの派遣 感染対策 子育てサロン等の子育て支援機関や各種イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせを通じた心温まる体験を提供する。 3 3（4）か月児健診時の広報・啓発 感染対策 3（4）か月児健診に来所した子育て世帯に対し、事業の趣旨を広報・啓発したり、絵本を手にとってもらう機会を提供する。				
計画目標	読み聞かせボランティアの活動件数 36件				

1. 令和4年度事業内容等

No.	19	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	中川児童館	
趣 旨		子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。			
事業予定		1 スターペアレンティング講座の開催 感染対策 親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶワークショップ中心の連続講座を3回程度開催する。 2 「フレッシュママの子育て入門」の開催 感染対策 生後4～7か月のお子様を対象に、0歳児の特性や生活リズムを学びベビーマッサージやリトミック等親子のふれあいを行う講座を6回程度開催する。 3 子ども・子育て支援センター共催講座等の開催 感染対策 より年齢層の高いお子様をお持ちの子育て家庭向けの内容となる子育て支援の講座を開催する。講座内容については、子ども・子育て支援センターとの共催や、区内の子育て支援関係団体で構成する「中川区子育て支援ネットワーク」との連携を踏まえて検討していく。 ※ いずれの講座も、開催の際は事前予約にて実施予定。			
計画目標		子育て支援講座の開催 10回以上			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回
実施内容	1 スターペアレンティング講座の開催 親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶグループワーク中心の講座を開催した。児童虐待防止月間の企画として2回、子ども・子育て支援センターとの共催事業として3回の計5回開催。 2 フレッシュママの子育て入門の実施 0歳児とその保護者に対し、ふれあいリトミックやベビーマッサージと第1子を抱える母親同士の交流の機会を提供する講座をオンラインで2回開催。
実績	・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 2回
総括	いずれの講座も、対面を前提とする内容があり、一部新型コロナウイルス感染症の影響により実施できないものがあったが、オンライン方式での開催を実施するなど、新しい試みを行った。開催した講座は参加者の満足度が高く、充実した内容であったが、いずれの講座も0～1歳のお子様をお持ちの保護者の方の参加が多く、より幅広い年齢のお子様をお持ちの保護者に受講してもらえるような子育て支援講座の内容を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	20	事業名	発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	—		
趣 旨	発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をととして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。				
事業予定	・パンダグループの実施 <u>感染対策</u> [対象] 発達に遅れのある子どもの親 [内容] 交流会、勉強会、数人のリーダーママを中心に実施のほか、講演会をパンダグループ参加者や、その他の子どもの発達への悩みを抱える親支援の場として開催する。				
計画目標	パンダグループの開催（講演会を含む） 7回				

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆)

計画目標	・ママともクラブの開催 2回 ・パンダグループの開催 7回
実施内容	1 ママともクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響や対象者数の減少、個別性により実施はできなかったが、個別支援で対応をした。 2 パンダグループ 発達に遅れのある子どもの親を対象に、リーダーママを中心として交流会を実施した。
実績	・ママともクラブの開催 0回 ・パンダグループの開催 3回
総括	ママともクラブを令和3年度は開催できなかった。中川区では、思春期セミナーなどの対策をすすめる中で若年の親の減少傾向がみられる。一方、その一人一人の抱える複雑化した背景により、関係機関との協力のもと、個別支援への移行を重視していく必要がある。 パンダグループは、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止をしながら、交流会の形式の工夫をしたり、講演会も実施し、定員以上の申し込みがあった。過去2年間、感染症拡大の影響で、継続的な開催ができなかったことから、グループリーダーママの継承が困難になっている。今後も参加者の悩みや声を聴きながら、運営の工夫の検討をしつつ継続していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	21	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点といった子育て関係機関の支援につなげることを目的として、子育て家庭向け交流イベントを開催し、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。			
事業予定		・子育て家庭向け交流イベントの開催 感染対策 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク」主催で、子育て家庭の交流の場の提供や、地域の子育て支援機関につながるきっかけ作りを目的とした交流イベントを実施する。 幅広い子育て家庭に参加していただけるよう、大規模イベントを中心に、地域密着型の小規模なイベント等様々な方法で開催し、子育て家庭の交流の場の提供、日常の子育て支援へつなげていくことで、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。			
計画目標		子育て家庭向け交流イベントの開催 3回			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆)

計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回
実施内容	・当初予定していた交流イベントは、参加者 100 名以上を見込む大規模なイベントであり、新型コロナウイルス感染症の影響により3回とも中止とした。 ・代替として、区内の子育て支援機関や団体で構成する「中川子育てネットワーク」の団体間で連携し、参加者 10 名程度の小規模イベントを2回実施した。 小規模イベントは、地域の公園での開催や普段とは違う内容とし、通りかかった親子が参加するなど新たなきっかけ作りとなった。
実績	子育て家庭向け交流イベントの開催 0回（代替あり）
総括	実施した小規模イベントは、地域の公園という普段とは違う場所や普段とは違う内容のイベントとすることで、新たな参加者もあり、事業の趣旨を達成する内容であった。 コロナ禍で子育て家庭の交流や支援につなげる機会が減少する中、令和3年度のノウハウを広げ、このような機会をより多く提供できるようにする必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	22	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。			
事業予定		1 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 感染対策 地域で子育て支援活動を行うための場を広げていけるよう、各機関への活動紹介を行うなど、新たな活動の場を積極的に開拓していく。 2 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 感染対策 区内の子育て支援ボランティアである「なかがわっ子サポーター」になるために必要なことを学ぶ講座として開催し、子育て支援の担い手を養成する。 3 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 感染対策 「なかがわっ子サポーター」としてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付け、多様なニーズに対応できるための講座を開催する。 4 区内3高校との連携による「なかがわっ子高校生サポーター」事業の実施 感染対策 高校生の段階から乳幼児やその家庭との関わり方を学ぶことにより、若年層による地域での子育て支援の機運を醸成する。			
計画目標		なかがわっ子サポーター延べ活動件数 288 件			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆ ）

計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 243 件
実施内容	1 「なかがわっ子サポーター」の活動の場の提供 62 件 コロナ禍において、子育て支援の場が減少する中、地域の子育て支援ボランティアである「なかがわっ子サポーター」の活動の場について、新たに保育園入所面接の際の託児依頼を設ける等活動の場の提供を実施した。 2 「なかがわっ子サポーター」としてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付けるためのステップアップ講座を開催した。 年度当初計画していた「なかがわっ子サポーター養成講座」及び「なかがわっ子高校生サポーター」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
実績	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 62 件
総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や子育てサロン等の場が減少する中、「なかがわっ子サポーター」の活動場所の提供が非常に困難な状況であった。 「なかがわっ子サポーター」の活動の場が広がっていき、地域の子育て支援の担い手や支援内容が充実するよう検討していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	23	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	保健センター保健予防課 中島保育園（エリア支援保育所）	
趣 旨		保育士や保健師などの専門職、保育案内人を地域の子育てサロンに派遣し、日常の置き場所がない大型絵本や遊具の保管・貸し出しを行うことにより、地域の子育てサロンの活動内容の充実や運営の支援につなげ事業の活性化を図る。			
事業予定		1 専門職等の職員派遣 <u>感染対策</u> エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人を子育てサロンに派遣し、各種講座の開催やより専門的な相談を受ける等の活動を実施する。 2 子育て支援物品の貸し出し サロン開催場所では置き場所に困るような大型絵本をはじめとする子育て支援物品を地域子育て支援センター等に置き、子育てサロンへの貸し出しを実施する。関係機関へ積極的な事業の周知を実施し、子育てサロンの活動の充実や魅力の向上につなげ、子育てサロンの活性化を目指していく。			
計画目標		専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆)

計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件
実施内容	1 職員の派遣 子育てサロンへ専門職等を派遣し、各種講座の開催や、より専門的な相談を受ける等の活動を行った。 派遣回数 ・ エリア支援保育所等の保育士：31 件 ・ 保健センターの保健師：42 件 ・ 保育案内人：12 件 2 子育て支援物品の貸し出し 2 件
実績	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 87 件
総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てサロンの開催自体が困難な状況が続き、派遣や貸出をする機会自体が減少したことに加え、関係機関への事業の周知が足りておらず、活用されていないという面もあった。 子育てサロンが本事業を活用しやすいよう周知等に努めていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	24	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待防止月間を中心として、区民への児童虐待防止ダイヤル「189」を広報することで、児童虐待の未然防止や早期発見につなげるとともに、関係機関との会議、システムを活用した情報共有を実施し、児童虐待への適切な対応を図る。				
事業予定	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 感染対策 児童虐待防止や早期発見につなげるために、条例に基づき定められた5月と11月の児童虐待防止推進月間を中心として、児童虐待防止ダイヤル「189」をより一層広報・啓発を促進するために、これまでの広報啓発活動に加えて、新しい媒体や新たな関係機関への働きかけなど、より幅広い広報啓発に努める。 2 要保護児童対策地域協議会の開催 感染対策 年1回の「なごやこどもサポート中川区代表者会議」、月1回の「中川区実務者会議」、必要に応じて「サポートチーム会議」の各会議を開催し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を図る。 3 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有し、連携した支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見対応等に結びつける。				
計画目標	児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発の促進				

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
実施内容	1 要保護児童対策地域協議会の開催 関係機関と連携を図る会議を適宜実施し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を行った。 2 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有することで、連携した支援の実施や早期対応等に結び付けた。 3 児童虐待防止の広報・啓発活動 児童虐待防止や早期発見につなげるために、条例に基づき定められた5月と11月の児童虐待防止推進月間を中心として、児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発活動を実施した。駅や商業施設での啓発物品を配布したことに加え、新たに子育てサロンの場を通じて利用者等に啓発し、また、子育て支援講座を実施する等、より広い広報・啓発に努めた。
実績	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
総括	各種会議やシステムの活用により、関係機関における要保護児童の情報共有や連携した対応を実施できた。児童虐待の未然防止や早期発見につなげるためには、より一層の広報・啓発を実施する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	25	事業名	子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースの運営	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを備え、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるよう、キッズスペースを設置、運営する。				
事業予定	・ なかがわっ子サポーターによる来庁者向け活動の促進 感染対策 子育て家庭の来庁が多く見込まれる時期を中心に、子育て家庭が安心して手続きを行えるよう、キッズコーナー「すまいる」等においてなかがわっ子サポーターによる託児等の活動機会を広げ、子育て家庭が安心して手続きできるような環境をつくる。				
計画目標	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 50 件				

●令和3年度の事業「キッズコーナー「すまいる」」を名称変更

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	キッズコーナーでのなかがわっ子サポーター活動人数 24 人
実施内容	1 なかがわっ子サポーターによる来庁者の託児実施 保育園入所面接のために来庁した来庁者に対し、面接中に子どもを安全に見守り、保護者が面接に集中できるよう、キッズコーナー等でなかがわっ子サポーターによる託児を実施した。 2 子育て支援情報チラシ等の配架 子育てサロンや地域子育て支援拠点などの情報チラシを配架し、区内の子育て支援情報を入手しやすい環境づくりに努めた。
実績	キッズコーナー等でのなかがわっ子サポーター活動人数 30 人
総括	令和3年度より新たに、保育園入所面接等の機会に、なかがわっ子サポーターによる託児を実施することで、来庁者が安心して手続きや面接に集中できる環境を整えることができた。令和3年度の実施内容を踏まえ、このような機会を増やしていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	26	事業名	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		青少年育成区民大会は、青少年が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表し情報交換することで健全育成・非行防止を促進する。青少年音楽のつどいは、青少年が自分たちで協力し合いながら発表会を運営し、チラシデザインの製作などを行うことで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。			
事業予定		・ 青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和5年1～2月 [場 所] 中川文化小劇場 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ開催できるよう規模や運営方法、対応策についてフレンドシップ協定締結校を中心に協議のうえ実施する。			
計画目標		青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
実施内容	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和4年1月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] ・フレンドシップ協定締結校生による青少年による問題に対する取り組みの発表を通じた情報交換 ・フレンドシップ協定締結校生による音楽活動の発表と運営 ・区内小中学生による音楽活動の発表（動画出演） ・当日は各学校関係者が交差することのないように学校ごとに時間を区切って発表し、後日区公式ウェブサイトにて動画配信を行う等新型コロナウイルス感染拡大防止対策をした上で開催した。
実績	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
総括	フレンドシップ協定締結校を中心に新型コロナウイルス感染状況に応じた開催方法を事前に協議し、当日は最も厳しい感染状況を想定し検討した方法（無観客）で開催することができた。発表当日に各学校関係者以外は入場することができなかつたため、後日区公式ウェブサイトにて動画配信を行い区内の青少年へ情報発信を行った。 発表会の運営やチラシデザインの製作等を行うことで自主性を育成することができたが、学校の垣根を超えた連帯感を醸成するためには青少年が発表や運営に参加し交流することが重要であるため、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえでより多くの青少年が参加し交流できるようフレンドシップ協定校を中心に今後も実施方法を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	27	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子どもたちが、地域の中で異年齢間での交流などさまざまな体験を通じて、主体性や社会性を身につけられるよう、子ども会活動を支援し、子ども会活動の活性化を図るため、区子ども会連合会の活動を支援する。			
事業予定		1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営及び情報発信を支援する。 3 魅力的な子ども会活動の実施に向け支援する。			
計画目標		子ども会の情報発信及び魅力ある活動に向けた支援			

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆)

計画目標	地域に向けた新たな子ども会の設立に向けた情報発信の実施
実施内容	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営を支援する。 3 区子ども会連合会のホームページを活用し、活動内容などの紹介を行い、広く区民の皆さまに子ども会の活動を周知する。 4 地域役員に向けて、子ども会の魅力や意義などを周知し、新たに子ども会の設立や活動の活性化について情報発信を行う。
実績	1 子ども会に対して、運営助成金を交付した。 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区子ども会連合会の主催行事は中止となった。 3 区子ども会連合会のホームページで、子ども会の活動紹介などの情報発信を行った。 4 新たな子ども会設立に向けた情報発信は行うことができなかったが、子ども会の新たな取組みとしてドリームプロジェクトに参加し、区役所でその内容をPRする等、広く子ども会の情報発信を行った。
総括	コロナ禍における子ども会活動について検討を重ねたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事は中止となった。そのため、活動内容の情報発信は十分に行うことができなかったが、今後の情報発信のあり方に向け意見交換を行った。 事業の中断が2年続き、子ども会離れが加速する恐れがあるため、積極的な情報発信と魅力ある活動実施に向けた支援が必要である。

1. 令和4年度事業内容等

No.	28	事業名	思春期セミナーの実施		区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署（所）	—		
趣 旨	講話や体験をとおして、いのちの大切さを学び、性について考え行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携して行う。					
事業予定	1 小学校におけるセミナーの開催 感染対策 主に4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦体験、生まれる体験 2 中学校におけるセミナーの開催 感染対策 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇 3 中学校（特別支援級）におけるセミナーの開催 感染対策 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験					
計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23 校 中学校（特別支援級含む）8 校					

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23 校 中学校（特別支援級含む）8 校
実施内容	1 小学校 主に4年生を対象に命の大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施。 〔講話内容〕いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 〔体験学習〕赤ちゃん人形の抱っこ体験 2 中学校 性に関する知識を講話中心として実施。 〔講話内容〕いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る 〔体験学習〕赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇 3 中学校（特別支援級） 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施。 〔講話内容〕いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、プライベートゾーン、パーソナルスペース体験 〔体験学習〕赤ちゃん人形の抱っこ体験
実績	小学校 21 校、中学校 7 校（他特別支援学級 1 校）
総括	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学校と検討を重ね、時期を延期するなどした。今後は経年で実施しつつある学校の定着をはかるとともに、未実施校については実施できるよう検討していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	29	事業名	高校生向け思春期保健事業		区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署（所）		中川児童館	
趣 旨	人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されている。望まない妊娠や 10 代の妊娠中絶を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身に着けるため、高校生向けの事業を開催する。					
事業予定	・ いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験・交流を実施する。 [感 染 対 策] [講 話 内 容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体 験 ・ 交 流]赤ちゃん人形の抱っこ体験、乳幼児とその親との交流 [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布					
計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1 校					

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1校
実施内容	命の大切さと正しい性知識を学べるよう、講話及び体験を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化 人生設計と性の自己決定、L G B T 人工妊娠中絶・避妊・性感染症について 子どもの権利、身近な相談先を知る [体 験]赤ちゃん人形の抱っこ体験 [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布
実績	高校1校で開催
総括	10代の望まない妊娠の防止等について、高校と共有の上実施してきており、最近では減少傾向にある。今後は定着を目指し、継続実施する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	30	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署（所）	支所区民福祉課	
趣 旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
事業予定	・5月に生活保護世帯・ひとり親家庭の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、地区担当員による家庭訪問などにより参加を勧奨する。また、8月から随時募集で新たな参加者を募る。 参加した児童の状況を事業者とも連携し見守り、必要な助言支援を地区担当員により行う。 感染対策				
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）
実施内容	・5月に生活保護世帯・ひとり親家庭の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、電話等による参加を勧奨。また、8月から随時募集で新たな参加者を募った。参加した児童の状況を事業者とも連携し見守り、必要な助言支援を地区担当員により行っている。
実績	生活保護世帯の参加率 20.9%（継続参加率 93.1%）
総括	参加者数は少ないが、参加した児童は学習の習慣がつき、事業の目的である高校進学による将来的な経済的自立の土壌づくりに寄与している。新型コロナウイルス感染拡大により地区担当員による家庭訪問活動が出来ず効果的な勧奨が行えず参加率が伸びなかったが、事業の趣旨や目的に立ち返り、より多くの参加を促すため、家庭訪問などのケースワーク業務を活性化させ参加者数を増加させる必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	31	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み		区分	継続
担当課	福祉課		関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム※ ¹ 」の深化・推進をめざす。					
事業予定	1 地域包括ケア推進会議等の開催 感染対策 地域包括ケアシステムにおける課題の集約と対応方針、支援体制を検討するために以下の会議を開催する。コロナ禍においてもオンライン開催等により各機関の連携を図るとともに、効率的・効果的な会議運営を行う。 （1）区地域包括ケア推進会議（区の地域包括ケアシステム構築の推進母体） （2）認知症専門部会（認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など） （3）生活支援部会（生活支援ニーズの把握や情報の見える化など） （4）孤立（虐待）防止ネットワーク部会（地域支援ネットワークの推進など） 2 地区診断※²等を受けての取り組み 感染対策 地区診断により把握した地域課題に対して地域と協働で策定した取り組みを継続し、他の地域においても対応を進める。また、区全体の介護予防の課題について多様な主体と連携した情報提供や地域の取り組みにつなげる。					
計画目標	・ 区地域包括ケア推進会議の開催 2 回 ・ 認知症専門部会の開催 2 回以上 ・ 生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各 2 回					

※1 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※2 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回
実施内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催 区地域包括ケア推進会議、及び各部会を対面で1回ずつ行った。新型コロナウイルス感染拡大時にはオンラインにて区地域包括ケア推進会議を1回、認知症専門部会を2回開催し、生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会を書面で1回ずつ開催することで関係機関と情報共有、意見交換を行った。 2 地区診断等を受けての取り組み 西中島学区及び愛知学区において地域ケア会議を実施し、地域の課題について協議を行った。区全体の課題である介護予防の取り組みについて区独自の体操「中川うちトレ」のパンフレットの配布、周知や地域で介護予防に取り組むグループや集いの場の把握を行った。
実績	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 3回 ・生活支援部会の開催 2回 ・孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 2回
総括	医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者、民生委員等、医療・介護・地域福祉に関わる多くの機関と各種取り組みの方向性や内容について情報共有・意見交換を行い、地域包括ケアシステムの深化推進を図ることができた。今後も課題を明確にして、より議論を深めていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	32	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。				
事業予定	1 認知症サポーター養成講座の開催 感染対策 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を地域や関係機関と連携して周知し開催する。 2 認知症セミナー・講演会の開催 感染対策 認知症に関する専門職の知見を聴くことで認知症の予防や支援につなげるための区民向けのセミナーを区医師会等と連携し実施するほか、講演会を開催する。 3 「中川区認知症のしおり」の普及啓発 認知症になったときに進行に合わせて利用できる医療・介護サービス、地域の取り組みを紹介する「中川区認知症のしおり」を普及啓発するとともに内容の改訂を検討する。				
計画目標	- 認知症サポーター養成講座受講者数（令和4年度末までの累計）14,500人 - 認知症セミナー・講演会を実施 各1回				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	- 認知症サポーター養成講座受講者数（令和3年度末までの累計）12,900人 - 認知症セミナー・講演会を実施 各1回
実施内容	1 認知症サポーター養成講座の開催 月1回の定例講座は緊急事態宣言発出により5月、9月が中止となった。出張講座は35回開催し、休日講座を2回開催した。また、区職員に講座を実施し区職員受講率100%を達成するとともに、他公所（署）へ受講勧奨を行った。 2 認知症セミナー・講演会の開催 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。講演会の代替として認知症予防のための運動についての医師の講話、中川区リハビリテーション協議会による自宅等で手軽に取り組める中川区独自の体操「中川うちトレ」の実演動画を名古屋市公式Youtubeチャンネル「まるはっちゅーぶ」で配信した。 3 中川区認知症のしおりの普及啓発 関係機関職員が中川区版認知症のしおりを使用し、窓口での相談時に認知症当事者、家族などへの説明を行った。また、認知症サポーター養成講座、認知症カフェ交流会で配布・周知した。
実績	- 認知症サポーター養成講座受講者数（令和3年度末までの累計）11,562人 - 認知症セミナー・講演会を実施 0回（代替あり）
総括	認知症サポーター養成講座の開催等、関係機関と連携して認知症理解の取り組みを進めることができた。今後も認知症の正しい知識を普及するための効果的な取り組みを検討していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	33	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	高齢者の生活支援ニーズを把握し、気軽に利用できるよう取り組みの充実を図り、高齢者を適切な関係機関につなげる仕組みづくりを進める。				
事業予定	1 生活支援ガイドブックの更新 フレイル*予防や区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を案内するガイドブックについて、更新し普及啓発を図る。 2 地域活動の参加促進 感染対策 地域活動への参加を促すため、講演会と地域団体の活動紹介を行うセカンドステージセミナーを開催する。また、地域活動の紹介動画を作成・放映し活動参加を促す。 3 高齢者サロン・共生型サロン実施の推進 感染対策 高齢者の身近な交流の場であり、困りごと相談や介護予防にもつながる高齢者サロン・共生型サロンを拡大・充実させるため、開設・運営における情報提供、相談支援や専門職の派遣を実施する。 4 覚え書きカードの活用 緊急連絡先、民生委員、ケアマネジャー、かかりつけ医等を記入するカードを配布し、訪問時や緊急時に関係機関と連携した支援を図る。 5 数え100歳のお祝い 数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金の贈呈（市事業）に併せて保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和4年度末） 122 か所				

※フレイル

加齢にともない、筋力や心身の活力が低下した状態

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和3年度末） 122 か所
実施内容	1 生活支援ガイドブックの更新 コロナ禍で危惧されるフレイルの予防及びサロンや支えあいの活動等の互いに助けあう地域の取り組み内容を強化した更新版を作成した。 2 セカンドステージセミナーの開催 町内会長としての地域活動体験を連載している新聞記者を講師とした講演の動画及び地域活動の紹介動画をオンライン（Youtube）にて配信した。 3 高齢者サロン・共生型サロンの実施を推進 各サロンの運営状況を定期確認するとともに、コロナ禍での運営課題や開催する際の工夫（二部制・予約制の導入、会場変更等）の情報共有及びサロンで案内できるフレイル予防の情報提供を行った。 4 覚え書きカードの活用 関係機関と使用方法、記載内容を協議し、カードの更新を行った。 5 数え100歳のお祝い 数え100歳の高齢者へ保育園児作成のメッセージカードを贈呈した。
実績	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和3年度末） 118 箇所
総括	地域住民、民生委員等から高齢者の生活ニーズを聞き取り、高齢者の生活の充実や支援につなぐ取り組みを進めることができた。今後も高齢者の生活支援につながる多様な手法を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	34	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	区障害者自立支援連絡協議会※との連携などを通じて、障害者の地域生活支援の充実を図る。				
事業予定	1 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 感染対策 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップを目指す。コロナ禍で対面実施が困難な場合はオンラインなどにより継続的な実施を目指すとともに、ウェブ会議サービスのグループ分け機能などを活用して議論の活性化を目指す。 2 私の防災ノート及び在宅避難のすすめなどの普及啓発 感染対策 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、障害部門のみではなく他機関等とも連携しながら、私の防災ノートや在宅避難のすすめについての広報や、出張なほど講座の開催など、障害者の防災に係る普及啓発を行う。				
計画目標	- 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 12回以上 - 私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1回以上				

※障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	- 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 1回以上 - 私の防災ノートに係る講座などの実施 1回以上
実施内容	1 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 障害福祉に関する事例検討会及び障害福祉サービス事業者向けの勉強会を対面で3回、オンラインで10回行い、支援者間の連携・スキルアップを図った。オンライン開催は対面に比べて議論がしにくいという意見があったため、後半からはウェブ会議サービスのグループ分け機能なども活用し議論の活性化を目指した。 2 中川区災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック（私の防災ノート）に係る講座等の実施 難病講演会にて私の防災ノートの普及啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた「障害のある方のための在宅避難のすすめ」を作成、事業所等に配布するとともに、区公式ウェブサイトに掲載し、障害者の防災に係る普及啓発を行った。このほか中川消防署と合同で火災図上訓練を実施した。
実績	- 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 13回 - 私の防災ノートに係る講座などの実施 1回
総括	事例検討会などの実施により支援者のスキルアップを図ったほか、私の防災ノートに係る講座などを実施し障害者の防災に係る普及啓発を行うことができた。今後も障害者の地域生活支援をさらに進める必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	35	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するために、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進を図る。				
事業予定	1 チームメッセンジャー事業※の実施 感染対策 社会福祉協議会など他機関と連携しながら、障害者（メッセンジャー）やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行う。 2 区民まつりへの出展 感染対策 障害について身近に感じられるよう、区民まつりに区民が障害者やその支援者と一緒にボッチャの体験などができるブースを出展する。 3 授産製品販売の促進 感染対策 障害者の社会参加や地域とのつながりづくり、また障害者の就労支援にもつなげるため、事業所との連絡調整などを行い区役所・支所での授産製品販売を促進する。また、各事業所などで扱っている授産製品の広報を行う。				
計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり20回以上				

※チームメッセンジャー事業

障害に対して正しい理解をもていただくために、障害のある方やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行うもの。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり22回以上
実施内容	1 チームメッセンジャー事業の実施 社会福祉協議会の福祉教育などと連携し、区内の小・中学校で車椅子体験等の出前講座を4回行った。 2 区民まつりへの出展 まつり中止の代替として、区民まつりで実施予定であったボッチャ等の紹介を載せた地域だよりを作成、区公式ウェブサイトに掲載して啓発を行った。 3 授産製品販売の促進 区役所・支所での授産製品販売を月あたり14回実施した。コロナ禍で販売を見合わせる事業所が多く販売回数が目標を下回ったので、代替として各事業所のおすすめの授産製品を地域だよりに掲載し、区のホームページに掲載して啓発を行った。
実績	・チームメッセンジャー事業の実施 4回 ・区民まつりへの出展 0回（代替あり） ・授産製品販売の実施 月あたり14回以上（代替あり）
総括	出前講座やボッチャ等の周知・広報により区民が障害に対する理解を深めるきっかけづくりを行うことができた。今後も障害者と区民が交流する場づくりを行うとともに、障害者の社会参加や地域とのつながりづくりを進め、障害の理解の促進を図る必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	36	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		がんは早期発見による早期治療が可能なため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に、乳がんは自己触診法で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につなげる。			
事業予定		- がん検診の普及啓発 感染対策 子育て中の母親や高齢者の集まるサロン等で、がん検診の案内や説明を行い、積極的な受診を勧奨する。 - 乳がん講座の開催 感染対策 主に乳幼児の子育てを行う母親を対象に、乳がんの基本知識の講話や乳がんモデルを活用した自己触診法の説明を行う乳がん講座を開催する。また、乳がん検診の受検者に対し、検診実施後に自己触診法の啓発を行う。 - 健康相談の実施 感染対策 区民まつりや地域の子育てサロン等において、ロコモティブシンドロームの知識の普及等により、生活習慣病の予防につながるよう支援を行う。			
計画目標		- 乳がん講座の開催 4回 - 区民まつりで健康相談の実施 1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価： ☆☆ ）

計画目標	- 乳がん講座の開催 4回 - 区民まつりで健康相談を実施
実施内容	- がん検診の普及啓発 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの事業やサロンが中止または縮小となったため、直接案内や説明を行う機会が少なく、がん検診ガイドや事業の案内チラシの配架や窓口での随時配布等を行った。 - 乳がん講座の実施 地域の子育てサロンにおいて、乳がん自己触診法教室を3回行った。 - 健康相談の実施 新型コロナウイルス感染症の影響により区民まつり自体が中止となったが、地域サロンを6回、いきいき教室（出張型・拠点型）を計6回実施し、その中で健康教育や相談等を行った。
実績	- 乳がん講座の開催 3回 - 区民まつりで健康相談を実施 0回（代替あり）
総括	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの事業が中止となったが、今後は感染対策を実施しながら、市民の健康づくりのために積極的な実施を目指していく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	37	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		中川区では、西・中央・東地区の公園を巡回して開催し、地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興など、地域の特色に合わせた企画を充実させることで、区民のふれあいや交流の推進と中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。			
事業予定		・区民まつりの開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年10月23日（日） [場 所] 富田公園 [実施方針] 区民のふれあいや交流を推進するため出来得る限りの感染対策をとり8年振りとなる富田公園での開催を目指す。 [内 容] ①地域特色を活かした事業 富田地区の歴史的な街並みや豊かな自然を活かし、伝統的なまつりや都市農業の魅力を伝える企画を実施する。 ②ふれあい交流事業 ステージイベントのほか、大人から子どもまで楽しめる各種ゲームや体験ブース、模擬店などを実施する。			
計画目標		区民まつりの開催 1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価： — ）

計画目標	区民まつりの開催 1回
実施内容	・富田公園において、区民のふれあいや交流を目的として、感染対策を講じて、参加型のイベントを企画し、準備を進めたが、1か月半前の段階で緊急事態宣言が発出されていたため、実行委員会において中止を決定することとなった。 ・当日のイベントとしては中止したが、準備段階で協力・協賛いただいた企業や団体への感謝と、参加予定だった富田高校書道部の作品の紹介、さらに区民まつりにおいて伝えたかったテーマ、メッセージを掲載した垂れ幕を、会場となる富田公園に掲出した。
実績	区民まつりの開催 0回
総括	区民のふれあいや交流を推し進めるには、現地で実際に区民が参加できる従来の「区民まつり」のかたちであるべきと考え、当初から現地開催を目指し、企画し準備を進めた。 結果的には中止としたことを踏まえると、令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて段階的に実施内容の変更や縮小や非参加型への変更（オンライン開催等）などをあらかじめ企画し、実施できるよう検討することが必要である。

1. 令和4年度事業内容等

No.	38	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。			
事業予定		1 区スポーツ祭の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年4月～令和5年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] 学区対抗で各種スポーツ大会の開催 観戦者の制限や来賓の縮小などにより参加者総数の縮小を図るとともに、大会開催時間の短縮を図り開催する。 2 区民美術展の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 区民が身近で実際に美術作品に接する機会とするために感染対策を徹底したうえで開催し、幅広い年代参加を目指し、デジタルアート部門新設、広報には SNS 等を活用する。			
計画目標		・スポーツ大会の開催 15 回 ・区民美術展の開催 1 回			

2. 令和3年度の実施結果

(評価: ☆)

計画目標	・スポーツ大会の開催 15 回 ・区民美術展の開催 1 回
実施内容	1 スポーツ大会の開催 <u>感染対策</u> (令和3年4月～令和4年3月) 2 区民美術展の開催 <u>感染対策</u> 区民美術展及び市民美術展が中止となったため、下記代替事業を開催した。 ・中川区 Web デジタルアート展 (令和3年11月～12月) [場 所] 区公式ウェブサイト・区役所庁舎内等 [内 容] 「あなたが思い描く、橋からみた中川運河の夢の景色」をテーマに、橋からみた中川運河はこうあってほしい、と思い描く景色を表現したデジタル静止画(写真加工等を含む)を募集し、区公式ウェブサイト等にて展示した。また、受賞作品は今後区における中川運河の PR 活動に活用する。 ・中川区 Web 写真展 (令和4年1月～2月) [場 所] 区公式ウェブサイト・区役所庁舎内等 [内 容] 「みんなの元気が出る写真 in 中川」をテーマに、中川区内で撮った、自分が元気になった瞬間や見た人の気持ちが明るくなるような写真を募集し、区公式ウェブサイト等にて展示した。
実績	・スポーツ大会の開催 3 回 ・区民美術展の開催 0 回 (代替事業2回)
総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した大会もあるが、区主催スポーツ大会を参加人数削減や感染対策を徹底したうえで3回開催できた。スポーツを通じ区民のふれあいと交流を推進するため、感染対策を徹底したうえで大会を開催する必要がある。中川区 Web デジタルアート展では若年層を中心に区民美術展日本画部門と同程度の出展があり需要を認識することができたため、区民美術展にデジタルアート部門を新設し、幅広い年代参加による美術展の充実を目指す必要がある。中川区 Web 写真展は特に若年層からの出展が多かったため、従来のチラシ等による広報に加え SNS 等も活用する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	39	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～		区分	継続
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	土木事務所		
趣 旨	前田利家公ゆかりの地を巡る犬千代ルートにある「利家ロード～槍の又左と歩む道～」も含め、利家公の魅力を発信し、中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。					
事業予定	・「前田利家オリジナル商品取扱店」について、現在登録されている荒子周辺の 4 店舗、一柳通商店街の 5 店舗の広報を行うことで制度を周知し、拡充につなげる。 ・犬千代ルート上の地域の店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店」参加の促進を行う。 ・ガイドボランティアの活動や、生涯学習センター講座における、打出街園の活用促進を行う。					
計画目標	前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 3 店舗					

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 ・開通イベントの実施 1回
実施内容	1 「前田利家公出世の道（仮称）」の整備 中川土木事務所による打出街園の舗装整備、植栽設置と、前田利家公の足跡がわかるプレートを作成・設置した。プレート作成にあたっては、名古屋学芸大学との「官学連携プロジェクト」として行った。 2 「前田利家公出世の道（仮称）」の愛称公募 整備された打出街園の愛称の区民公募を8月に実施。3点に絞った候補の投票を行い、「利家ロード～槍の又左と歩む道～」に決定した。 3 「前田利家オリジナル商品取扱店」の拡充 一柳通商店街の加盟店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店等登録制度」の周知と参加の促進を図り、5店舗の参加を得た。 4 「利家ロード～槍の又左と歩む道～」の開通式 感染対策 一柳通商店街との協働による開通イベントを実施。 [実施時期] 令和4年3月21日（月・祝） [場 所] 打出街園 [内 容] 開通式典と犬千代カードウォーク
実績	・前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 ・開通イベントの実施 1回
総括	整備した打出街園「利家ロード～槍の又左と歩む道～」のPRと、イベントや生涯学習センター講座等での活用を進める必要がある。 また、今回拡充した登録店5店舗を含めた「前田利家オリジナル商品取扱店」とイベント等の取り組みについて検討していく必要がある。 打出街園の維持管理についても、土木事務所と連携し、愛護会等による地域との協力体制を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	40	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～	区分	新規
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		戸田の歴史や産業といった特色を魅力として発信するとともに、4年に一度の大祭を迎える「戸田まつり」の歴史と魅力を子どもたちはじめ次の世代への伝承を促進することで、区への愛着を育み、コミュニティ力の向上につなげる。			
事業予定		1 戸田まつり伝承の記録 4年に一度の大祭の様様や地元の語り部への取材など戸田まつりの歴史と魅力を記録した映像を作成し、区内小学校の郷土学習での活用などを通じて多くの方に見ていただき、次の世代への継承の機運とする。 2 戸田まつりの魅力発信 5つの山車が格納されている神社で戸田まつりについて知ることができる案内板を設置し、案内板の二次元コードからからの動画を見ることができる仕掛けをすることで、戸田まつりへの関心を高める。 3 戸田のまちの魅力発信イベント 戸田の農業や醸造業など体験・見学できるイベントを地域と実施し、イベントを通じて戸田のまちの魅力発信マップを作成する。			
計画目標		・郷土学習での活用 9校（富田支所管内の小学校） ・イベント実施 1回			

1. 令和4年度事業内容等

No.	41	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	土木事務所、環境事業所	
趣 旨		区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信するとともに、区民のふれあいや交流の機会とする。			
事業予定		1 中川運河の魅力発見 <u>感染対策</u> 船上と地上の双方からの視点で魅力を発見するまち歩きを、クルーズ船を活用して実施する。中川運河周辺の地元企業の協力を得て運河周辺への関心を高める。 2 庄内川多世代ふれあい事業 <u>感染対策</u> 庄内川ボートクラブ（愛知県ボート協会）との協働で水辺に親しみ、庄内川の魅力を知るボート部の学生との交流により、庄内川に関心や興味を深めることを目的とした親子対象のボート教室を実施する。 3 戸田川地域ふれあい事業 <u>感染対策</u> 戸田川上流域にて「戸田川発見隊」と協働し、地域住民や企業などの参加による大清掃と交流イベントを実施する。 [実施時期] 令和4年11月3日（木・祝） 4 荒子川の魅力発見 <u>感染対策</u> 【新規】 荒子川的环境美化と魅力発見のプロギングを実施する。			
計画目標		中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回
実施内容	1 中川運河の魅力発見 <u>感染対策</u> 中川商業高校の生徒と協働し、令和4年2月11日（金・祝）にクイズラリーイベント「中川運河 DE クイズ」を企画、運河周辺企業の協賛を得て実施した。 2 庄内川多世代ふれあい事業 <u>感染対策</u> 愛知県ボート協会との共催で、令和4年3月6日（日）に小学5年生以上対象のボート教室の実施を予定していたが、当日の天候不良により中止とした。 3 戸田川地域ふれあい事業 <u>感染対策</u> 令和3年11月3日（水・祝）に、戸田川大清掃を実施する予定だったが、コロナ禍により延期した。その後も感染拡大が収束しなかったため中止とした。 4 荒子川の魅力発見【新規事業】 <u>感染対策</u> まち歩きイベント「荒子川お花見さんぽ～これど～こだ??～」を令和3年4月3日（土）に実施。併せてフォトコンテスト「いいとこ荒子川！見～つけた！」を実施した。また、フォローアップ事業として、一柳中学校美術部の協力による「荒子川環境美化ポスター展」と荒子川へのポスター掲示を実施した。
実績	中川運河及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回
総括	それぞれの「川の魅力発信事業」において関わりのある団体等との連携が、広く魅力を発信するうえで必要である。 また、学校との連携は、若い世代への魅力発信のうえで効果的であり、企画段階からの関わりを持つことも必要である。

1. 令和4年度事業内容等

No.	42	事業名	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	これからを担う子どもたちに、中川区の特色であるものづくりの魅力を伝えていくことで、中川区に対する誇りを醸成し、愛着を深める機会とする。				
事業予定	・中川区ものづくり見学・体験会の実施 <u>感染対策</u> [場 所] 区内のものづくり企業 [内 容] 区内のものづくり企業などの協力を得て、親子を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する。実施後、参加者の体験記や実施記録などにより、参加者以外に広く伝える。より多くの方々へものづくりの魅力を伝える観点から、区内小学校の社会見学ができるよう、協力企業を紹介するなどの連携を図る。				
計画目標	中川区ものづくり見学・体験会の実施 1回				

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
実施内容	・未来へつなげよう、ものづくりのまち中川の実施 <u>感染対策</u> 区内ものづくり企業の協力を得て、令和3年12月27日（月）に、親子を対象としたものづくり見学・体験会「親子 GoGo 工場」を実施した。 当初、借り上げバスを利用して、複数の企業への見学等を企画していたが、コロナ禍により内容を変更した。現地集合で1社のみでの実施としたが、見学・体験に加え、SDGsに関するワークショップや工作など、内容を充実させることができた。
実績	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
総括	実施時期を小学校の冬休み期間中としたことで、年末の実施となり、企業の協力や参加が得られにくい結果となったことから、令和4年度は企業の意見も聴取しながら実施時期について検討する必要がある。 また、費用対効果を考慮し、より多くの方に還元できるような事業となるよう、見学・体験以外にも、企画内容を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	43	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課		地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信し、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで、訪れたいまちを目指すとともに、地域で活動する団体と協働することで、区民とともに郷土愛の醸成を図る。			
事業予定		1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 <u>感染対策</u> （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 「はっけん・たんけん・中川区まちの魅力発信隊」のワークショップを通して隊員のガイドのレベルの底上げと、ガイドマニュアルの作成を行う。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 犬千代ルート及び各街道マップの内容確認と刷新の検討を行う。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 区民まつりブースにて区内の魅力発信と活動紹介及び隊員募集を行う。 （4）区内まち歩きイベントの実施 発信隊企画による魅力スポットを巡るまち歩きイベントを実施する。 [実施時期] 令和5年2月～3月（仮） 2 富田地区のふれあいあるまちづくり <u>感染対策</u> 富田地区ウォーキング大会 [実施時期] 令和5年3月（仮）			
計画目標		区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆ ）

計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回
実施内容	1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 <u>感染対策</u> （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 毎月ワークショップを開催し、活動支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止した月もあり年間8回の開催となった。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 ワークショップにおいて、「みどころマップ」の刷新に向けた検討を1年かけて行った。また、「犬千代ルートマップ」の増刷を行った。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 区民まつりの中止に伴い、実施できず。 （4）区内まち歩きイベントの実施 令和4年2月26日（土）に荒子界隈でガイド付きまち歩きイベントを実施した。30名の参加応募があり、当日は25名の参加となった。 2 富田地区のふれあいあるまちづくり <u>感染対策</u> 令和4年3月19日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
実績	区内まち歩きイベント 1回
総括	郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業では、「はっけん・たんけん・中川区 まちの魅力発信隊」の活動によるところだが、団体の活性化を図るため、活動への支援方法はもとより組織運営への支援方法について、検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	44	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていくとともに、認知度の向上を目指す。				
事業予定	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作成 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動 6 「ナッピー」18歳の選挙啓発活動【新規】 令和4年度はナッピーが18歳になることから選挙啓発活動として、ポスター作成と、区内高校への出前授業を統計選挙係と行う。				
計画目標	ナッピーを活用した啓発活動 40回（広報なごや以外の媒体への掲載を含む） ナッピーの認知度 50%				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回
実施内容	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 キャンペーンやイベント等の機会を捉えて、着ぐるみを活用した啓発活動を行った。（38回使用） 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 交通安全を始めとした啓発品の作製にあたり、キャラクターデザインを活用した。（6種作成） 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 キャラクターの立ち位置を意識した活用を行うことで、キャラクターの区民への浸透を図った。 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動【新規事業】 機会を捉えてLINEスタンプの周知を行い、購入者の使用により啓発に繋げることを狙った。（年間購入者155人） 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動【新規事業】 保育園を始めとした交通安全教室において、交通安全を啓発するぬいぐるみを贈呈し、園児に向けて啓発を行った。（18回）
実績	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回
総括	特に子どもを対象とした場合、効果的な啓発には「ナッピー」の認知度を上げることが重要となり、区役所内の各課はもとより、区内公所、さらには民間企業や団体においても、キャラクターデザインを活用していただくことも必要である。 「ナッピー」を活用した選挙啓発活動においては、総務課統計選挙係と連携し、選挙啓発として効果的な時期、対象について検討して進める必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	45	事業名	中川区みんなで歌おう第九コンサート		区分	新規
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	中川文化小劇場		
趣 旨	区民が一体となってコンサートを創り上げるにより、地域の連帯感を生みコミュニティの醸成と文化振興を図り、中川区のさらなる発展につなげる。					
事業予定	・ 中川区みんなで歌おう第九合唱団の実施 <u>感染対策</u> 中川区出身指揮者の下、区民を中心に結成された合唱団がプロのオーケストラやソリストとともに「第九」を歌い、また、観客が参加できる企画等により、一体となったコンサートを実施する [実施時期] 令和5年3月19日（日） [場 所] 愛知県芸術劇場コンサートホール [内 容] 当日までのスケジュール ・ 実行委員会設立（4月） ・ 合唱団員募集（5月） ・ 合唱団結団式（6月） ・ 合唱練習（7～3月） ・ リハーサル（令和5年3月18日（土））					
計画目標	来場者アンケート満足度 95% 合唱参加者アンケートで次回も参加したい、参加を検討すると答えた人 90%					

1. 令和4年度事業内容等

No.	46	事業名	ベジファーマーの育成		区分	継続
担当課	中川農政課		関係部署（所）	—		
趣 旨	農家の高齢化や後継者不足により、耕作困難となる農地が区内に増加していることから、新たな農業の担い手「ベジファーマー※ ¹ 」を育成するとともに、名古屋市農地バンク制度※ ² を活用した農地の保全を図る。					
事業予定	1 ベジファーマー育成講座の開催 <u>感染対策</u> 令和 3 年度より受講生の数を増やすほか、栽培技術のノウハウだけでなく農への向き合い方など幅広く学べる内容に改善して実施する。 2 農地バンクへの登録勧奨 制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧める。農地バンクを活用している講座修了者に実体験を話す時間をつくり新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。 登録を希望した講座修了者に登録農地のあっせんを行う。					
計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 12 名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 5 名					

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 名古屋市農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 9名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 3名
実施内容	1 ベジファーマーの育成 <u>感染対策</u> 感染症対策の一環として、例年より受講生の数を少なくして講座を開催した。また、令和3年度より座学と実習とを同じ場所で開催することとした。 2 農地バンクへの登録勧奨 農地バンクの制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧めた。
実績	・ベジファーマー育成講座の受講生 8名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 2名
総括	受講生の数を絞った講座開催となったが、受講生全員が講座を修了することができた。 修了生のうち数名が市外で就農することになり、本市の農地バンク登録に繋がらなかったケースもあったので、都市農業の意義を講座内で伝えるなど、市内での就農につながる講座内容にしていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	47	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣 旨	トマトや水耕ねぎ・みつばなど地域で栽培が盛んな農産物や、中川区発祥の伝統的な農産物(野崎白菜・名古屋ちりめんハボタン)について、学校や農業者、企業等と連携し広報PRを行い、地元農産物に対する愛着意識の醸成や地産地消の推進を図る。				
事業予定	1 農産物の広報 中川区発祥農産物の紹介チラシを新たに作成・配布するなどし、区内の学校、農業者、企業等と協働して地域の特産農産物のPRを図る。 2 地産地消フェアの開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年11月 [場 所] 区役所駐車場 [内 容] 中川区発祥のあいち伝統野菜「野崎白菜」をはじめ、地元の新鮮な農産物の販売を行う。 3 中川区発祥農産物の区内学校での栽培 <u>感染対策</u> 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で生徒さんに栽培してもらうための資材を提供する。育てたハボタンの苗の一部は、地産地消フェア等のイベントで区民に配布する。				
計画目標	・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 5校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 5校				

2. 令和3年度の実施結果

(評価: ☆☆)

計画目標	・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 3校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校
実施内容	1 地元農産物の広報 なごや学マイスター講座での講義など、地元研究会等と協働して地域の特産農産物のPRを実施した。 2 野菜マルシェの開催(地産地消フェア開催の代替措置) <u>感染対策</u> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地産地消フェアが中止となったが、11月27日開催の「野菜マルシェ」(戸田川緑地)において、野崎白菜をはじめとした地元の農産物の販売を行い、地域の特産農産物のPRを行った。 3 中川区発祥農産物の区内学校での栽培 <u>感染対策</u> 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で生徒さんに種から育ててもらい、ハボタンの苗の一部は野菜マルシェで区民等に配布した。
実績	・地産地消フェアの開催 年0回(代替あり) ・野崎白菜栽培校 10校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 7校
総括	地産地消フェアは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、栽培協力学校数は増やすことができた。コロナ禍でも効果的に周知PRが図れるよう、関係機関との協働を推進し、多様なPRの機会をつくる必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	48	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		広報なごや区版をはじめ区公式ウェブサイト、SNS、地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。			
事業予定		1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 広報なごや区版や区公式ウェブサイトでは子育て世代以上を中心に、若い世代や企業向けにはツイッターやInstagramなどの SNS を活用するなど、対象者に合った効果的な発信を行う。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 3 Instagramを活用した魅力発信 【拡充】 4 名古屋市観光コンベンションビューローと連携した魅力発信 （名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用） 5 なごや歴史探検アプリなどを活用した魅力発信			
計画目標		広報なごや区版の閲覧率 55% SNS による発信件数 100 件 各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	広報なごや区版の閲覧率 65% SNS による発信件数 70 件、各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）
実施内容	1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 広報なごや区版の表紙を意識した紙面作りを行うことで、閲覧率の向上を目指した。また、ウェブサイトや SNS による情報発信も積極的に行い、Instagramの活用にも着手した。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 複数の地域コミュニティ誌に対して情報提供を行うことで情報発信を行ったが、掲載の有料化などにより掲載できなくなったコミュニティ誌もあった。（年間3誌17回掲載） 3 名古屋市観光コンベンションビューローなどを通じた情報提供【新規事業】 （名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用） コロナ禍によってイベントの参加者を広く集めることができなかつたり、開催そのものが不確定なものもあり、名古屋コンシェルジュ等の観光情報ツールにマッチしない等、活用に至らなかった。 4 なごや歴史探検アプリなどを活用した情報発信【新規事業】
実績	広報なごや区版の閲覧率 47.0% SNS による発信件数 270 件、各メディアへの情報提供 12 件
総括	それぞれの広報媒体の特徴を活かして、効果的に情報発信・魅力発信を行う必要がある。 地域の情報や区の魅力発信について、取り上げる地域や発信する内容、その対象となる世代が偏らないよう広く発信するために、積極的に区内の情報収集を行う必要がある。

その他の取り組み つながりづくりに向けた取り組み

1. 令和4年度事業内容等

No.	49	事業名	町内会・自治会の加入促進	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	町内会・自治会に関心を持ち、加入するメリット等を周知することで町内会・自治会への加入を促進し、地域コミュニティの活性化につなげる。				
事業予定	1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 【拡充】 町内会・自治会加入促進チラシを作成し、転入者等への配布、区政協力委員等による加入案内の支援を実施し、不動産関係団体との連携、加盟事業者に加入促進チラシの配布協力を依頼する。新たに区内各郵便局に配架を依頼する。 2 町内会・自治会の活動紹介チラシの作成 【新規】 町内会・自治会の活動を分かりやすくまとめたチラシを作成し、区政協力委員に配布し、加入案内支援を実施する。 3 加入促進ポスの設置等による町内会・自治会への取次ぎ 外観を目立つように工夫して、加入促進ポスを区役所情報コーナーに設置する。問い合わせのあった町内会・自治会への取り次ぎを実施する。 4 共同住宅の建築確認情報の提供 共同住宅が新築される学区に対し、年4回、建築確認情報を提供し、町内会長等による町内会・自治会加入案内の支援を行う。				
計画目標	町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚 町内会・自治会の活動紹介チラシの作成				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚
実施内容	1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 町内会・自治会加入促進チラシを作成し、転入者等への配布を行った。また、不動産関係団体と連携し、加盟業者に町内会・自治会加入促進チラシの配布協力を依頼した。 その結果、町内会・自治会への取り次ぎ依頼が6件（3月15日現在）あった。 2 加入促進ポスの設置等による町内会・自治会への取次ぎ 区役所情報コーナーに設置されている加入促進ポスへの問い合わせは0件（3月15日現在）だった。 3 共同住宅の建築確認情報の提供 共同住宅が新築される学区に対し、年4回、建築確認情報を提供し、町内会長等による町内会・自治会加入案内の支援を行った。
実績	町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚
総括	町内会・自治会加入促進チラシの配布について、不動産関係団体との連携を行ったことで、より多くの方に周知することができた。一方で加入促進ポスでの問い合わせはなく、ポスの配置方法などの検討が必要である。 町内会・自治会への加入にメリットを感じない人もおり、加入者は減少傾向にある。町内会・自治会の活動が認知されていないのが一因にある。町内会・自治会の活動について積極的に周知する必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和4年度事業内容等

No.	50	事業名	区民の声を区政に反映	区分	継続
担当課		企画経理室、総務課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区の将来の方向性に関することや区政運営の取り組みなどについて、幅広く意見をお聞きする機会を設けることで、区民の区政への関心を高め参画をすすめる。			
事業予定		1 区民会議等の開催 感染対策 区民意見の聴取のために区民会議を年2回開催する。また、より幅広い世代が交流し意見を交換するためのワークショップとして意見収集の場「なかが話」を区民会議構成員からの推薦者と公募による参加者とともに、高校生だけのグループも作るなどの工夫を行い開催する。 また、収集した意見について、区役所内でより積極的な共有を行う。 2 区民アンケートの実施 区民2,000人を対象とした区民アンケートを実施し、中川区将来ビジョンにおける成果指標の評価及び今後の施策を含めた区政に関する意見について聴取する。 3 提案箱の設置 区役所・支所に引き続き提案箱を設置し、区民からの提案・意見を随時収集することで事務改善等を行い、区民サービスの向上につなげる。			
計画目標		- 区民会議（意見収集の場「なかが話」を含む）の開催 3回 - 区民アンケートの実施 1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	- 区民会議の開催 2回 - 意見収集の場「なかが話」の開催 1回 - 区民アンケートの実施 1回
実施内容	1 区民会議の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回は書面にて開催し、第2回は通常通り開催した。意見収集の場「なかが話」については、例年行っていたワークショップ形式での開催を中止し、区内にある名古屋市立工業高等学校及び愛知県立中川商業高等学校の生徒会の協力により『出張！「なかが話」』を代替事業として開催した。両校とも目指す地域の姿として明るい地域にしたい旨の発言があり、高校生の視点でそれに向けた取り組みを考えてもらったことにより、地域や区政への関心を高めることができた。 2 区民アンケートの実施 11月19日～12月10日に実施し、項目に「住んでいる地域」を加えることにより、施策を考える際のターゲットを明確にできるようにした。 3 提案箱の設置 44件の提案・意見があり、事務改善につなげた。
実績	- 区民会議の開催 2回（1回は書面開催による） - 意見収集の場「なかが話」の開催 0回（代替あり） - 区民アンケートの実施 1回
総括	区民会議では、議題の精査不足により、意見がほとんど出なかった。また、『出張！「なかが話」』では、同じ環境にある人で集まる方が課題や改善策を考えやすいが、進行方法によって意見を狭めることになってしまった。 今後、議題の作り方や「なかが話」のグループ構成、事前の情報提供などを見直し、自由かつ幅広い意見収集の機会にしていくとともに、区民アンケートを含め、区民の声をより施策に反映させていく必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和4年度事業内容等

No.	51	事業名	利用しやすい区役所づくりの推進	区分	継続
担当課		総務課ほか	関係部署（所）	—	
趣 旨		接遇・窓口対応能力の向上や庁舎環境の改善を図るなど、利用しやすく親しまれる区役所をめざす。			
事業予定		1 外部講師を活用した窓口サービスの向上 高齢化の進展や区民ニーズが多様化する中、各課窓口におけるサービス向上のため、職員自身が窓口サービスに必要なスキルについて協議した上で、接遇・窓口対応能力向上を図る研修を実施し、窓口サービスの向上に役立てる。 また、認知症サポーター養成講座の全職員の受講を引き続き推進する。 2 庁舎環境の改善 来庁した区民の方が快適に庁舎を利用できるよう区民目線に立った庁舎環境の改善を進める。あわせて外国語の庁舎案内文を作成するなど、外国人の方々が利用しやすい区役所づくりを進める。			
計画目標		接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回
実施内容	1 外部講師を活用した窓口サービスの向上 外部講師による接遇・CS向上セミナーを2回開催し、接遇・窓口対応能力の向上を図った。 また、全職員が認知症サポーター養成講座を受講した。 2 庁舎環境の改善 空調設備や雨漏りの修理など庁舎等の不具合解消に係る工事等を実施した。 また、提案箱でいただいた意見を受けて、駐輪場へのいたずら防止に係る注意文の掲示やセンサーライトの設置、昼休みに取り扱う窓口業務の区公式ウェブサイトへの掲載を行った。
実績	接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回
総括	接遇・窓口対応能力の向上については、接遇推進委員会で接遇・CS向上セミナーの内容を協議したことにより、職員が職務を遂行する上で必要と考える内容とすることができた。また、サービス介助士の資格取得を推進していたが、受講者の負担が大きく、年々希望者が減少してきた状況もあり、個人の資格取得ではなく、より多くの職員が高齢者や障害者への適切な対応方法に関する知識を学べる取組みを検討する必要がある。 庁舎環境の改善については、庁舎等の不具合解消に係る工事等を18件実施した。一方、提案箱でいただいた42件の意見のうち3割以上を占める駐車場・駐輪場に関する意見については、表示の見直しや樹木の剪定・伐採のほか、適切な誘導に向けた警備員への指導等を実施したが、駐車場の混雑解消までには至っていない。今後、駐車スペースの拡充やより円滑な誘導に向けて検討を進める必要がある。 また、令和4年2月に接遇推進委員会を開催して外国人の方が利用しやすい庁舎案内について協議する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で区役所から保健センターに応援職員を派遣していたことにより中止とした。外国人や高齢者が増加する中、国籍・年齢に関わらず、どのような方にとっても利用しやすい区役所づくりを進める必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和4年度事業内容等

No.	52	事業名	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	区分	継続
担当課	支所区民生活課	関係部署（所）	—		
趣 旨	富田地区の魅力や地域活動の情報を発信することで、住民が地域活動に積極的に参画する契機とし、住民相互の交流を図り、連帯を深めることを目的とする。				
事業予定	1 地域の団体に、イベントの開催案内及び活動報告、地域活動の報告など、多岐にわたる情報提供を依頼し、より多くの広報ができるよう働きかけていく。 2 地域の団体、公共施設などを通じ、地域住民に富田地区の魅力スポットの情報提供等の依頼を行い、富田地区の魅力発信を強化していく。				
計画目標	年間申請数 40 件以上				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	年間申請数 36 件以上
実施内容	1 富田支所の玄関に「とみだふれあい掲示板」を設置して、地域の情報を発信した。 2 新型コロナウイルス感染症等の影響により各種イベントが中止となり、地域からの掲示依頼は減少したものの、富田地区会館を始めとする支所管内の関係機関や公共施設へ情報提供を依頼した結果、各施設の事業案内を多く広報することができた。
実績	年間申請数 36 件
総括	地域からの情報発信が少ない点が課題として挙げられるので、今後はイベントの開催案内だけでなく、地域での活動報告など多岐にわたる情報を多く発信することで、地域活動への参画のきっかけ作りを行うとともに、富田地区の魅力スポット等の情報をより多く発信していく必要がある。魅力発信についても十分とはいえないため、地域の団体や公共施設などを通じ、地域住民に魅力スポットの情報提供を依頼し、富田地区の魅力発信を強化していく必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和4年度事業内容等

No.	53	事業名	季節の花でおもてなし	区分	継続
担当課		中川農政課、地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		来庁される皆さまに、癒しとやすらぎを感じてもらうため、区役所、支所の花壇を季節の花で彩る。			
事業予定		1 年間を通じた季節の花の植栽 （１）区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を行う。 ・区役所１階にボランティアによる玄関花を設置する。 （２）支所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備をボランティアと協働で行う。 2 情報発信 植え付けにあわせて区公式 SNS による発信を行う。			
計画目標		区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所 3～5 回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所 3～5 回 区役所の玄関花の継続的な設置				
実施内容	1 年間を通じた季節の花の植栽 （１）区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を実施した。 ・区役所１階にボランティアによる玄関花を設置した。 （２）支所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備をボランティアと協働で実施した。 2 情報発信 植え付けにあわせて区公式 SNS による発信を実施した。				
実績	区役所の花壇の植え付けの実施 5 回 支所の花壇の植え付けの実施 4 回 区役所の玄関花（生け花） 78 回				
総括	来庁者の目を楽しませ、区の花である名古屋ちりめんハボタンのPRを行うことができる効果もあり、今後も区民に身近で親しまれる区役所として庁舎環境の整備を継続していく必要がある。				

以下については、令和３年度をもちまして終了となった事業の実施結果のみを掲載しています。

No.	18	事業名	乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	民生子ども課、中川図書館、 富田図書館、社会福祉協議会		
趣 旨	子どもと保護者が絵本を介して楽しいひとときを持つきっかけとなるように、絵本の紹介をし、子どもの健やかな成長を支援する。				

令和３年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	保健センター19回 分室16回
実施内容	・3(4)か月児健診時 感染対策 健診後に保健センターのスペースで図書館職員とボランティアが、絵本の紹介をし、絵本をプレゼントする「中川区ブックスタート事業」を行い、親子のふれあいや子どもたちが本に親しむ機会を提供した。 絵本3種類の中から保護者が図書館職員、ボランティアから説明を聞き、1冊を選択してプレゼントした。その他、本に親しむ親子の触れ合いについて説明を行った。 ・1歳半健診時の本の読み聞かせは、令和２年度と同様コロナ感染防止のため、中止した。
実績	3(4)か月児健診時の絵本のプレゼント 健診35回（分室含む）のべ1,591名に手渡し実施
総括	コロナ禍のもと、乳幼児健診は感染防止に努めながら通年実施することができた。3(4)か月児健診は、本所及び分室で35回実施して受診者1,603名、うち絵本のプレゼントは1,591名（実施率99.3%）となった。 個人の寄付金によるブックスタート事業は、令和３年度で終了となった。 民生子ども課の取材で保護者より「絵本をもらえて嬉しい」「上の子にもらった絵本も今でも大切にに使わせてもらっている」など好評を得ることができた。 保健センターの健診後の場を利用した事業ができたことは非常に有効と思われる。（令和４年度から開始するシェアブックス事業も同様に健診後に絵本紹介冊子をお渡しする形式を継続していく。）

3 令和3年度の取り組み結果について

(1) 将来ビジョンに掲げる成果目標の進ちょく状況

中川区では、令和2年5月に策定した「中川区将来ビジョン」において、施策の進ちょく状況を示す「ものさし」として18の指標を定め、将来ビジョンの計画期間の最終年度となる令和5年度までの達成を目指す成果目標を設定しました。

令和3年度の結果は以下の通りです。

めざすまちの姿	進ちょく状況別指標数					
	A	B	C	D	—	合計
安心・安全きれいなまち	3	—	1	2	1	7
みんなにやさしいまち	3	—	1	3	—	7
魅力あふれるまち	1	—	1	1	1	4
合計	7	0	3	6	2	18

(注) 令和3年度の基準値に対する進ちょく状況を以下のように評価しています。

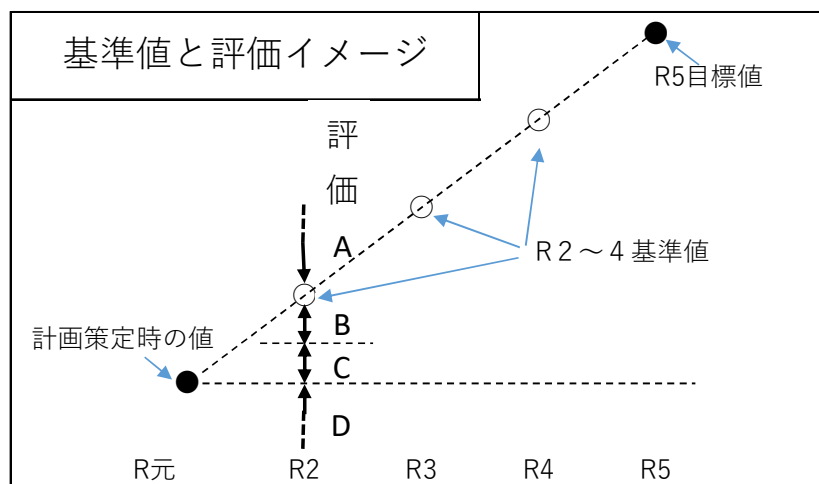
記号	基準
A	令和3年度の基準値を達成した (基準値に対する実績値の割合が100%以上)
B	計画策定時の値に対して向上した (基準値に対する実績値の割合が50%以上100%未満)
C	計画策定時の値に対してやや向上または維持した (基準値に対する実績値の割合が0%以上50%未満)
D	計画策定時の値を下回った (基準値に対する実績値の割合が0%未満)
—	計画していた事業の中止により実績値がとれなかった

令和3年度の基準値の算定方法は次の通り

計画策定時の値 + (令和5年度の目標値 - 計画策定時の値) × 2/4

基準値に対する実績値の割合の算定方法は次の通り

(3年度の実績値 - 計画策定時の値) ÷ (3年度の基準値 - 計画策定時の値)



安心・安全きれいなまち 施策１－１ 地域防災力の向上

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
防災対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	47.7%	55%	51.4%	54.9%	A
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	41.7%	100%	70.9%	100%	A

安心・安全きれいなまち 施策１－２ 防犯対策・個通安全対策の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
防犯対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	55.8%	60%	57.9%	57.9%	A
交通安全対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	57.6%	65%	61.3%	59.0%	C
交通安全教室の開催回数	79 回	90 回	85 回	40 回	D

安心・安全きれいなまち 施策１－３ 快適に暮らせる環境づくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合	46.7%	55%	50.9%	45.5%	D
クリーンキャンペーンの参加人数	9,727 人	10,000 人	9,864 人	—	—

みんなにやさしいまち 施策２－１ 子育て環境の充実

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
子育て支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合	53.8%	60%	56.9%	62.7%	A
なかがわっ子サポーター活動件数	255 件	300 件	278 件	62 件	D

みんなにやさしいまち 施策２－２ 子ども・青少年の健全育成

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
青少年育成への取り組みが進んでいると思う区民の割合	34.4%	40%	37.2%	45.7%	A
子ども会への加入率	24.6	25%	24.8%	20.5%	D

みんなにやさしいまち 施策２－３ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
高齢者・障害者支援への取り組みが進んでいると思う区民の割合	50.3%	55%	52.7%	57.1%	A
高齢者サロン・共生型サロンの実施数	120 箇所	122 箇所	121 箇所	118 箇所	D
認知症サポーター養成講座受講者数 (累計)	10,540 人	16,200 人	13,370 人	11,562 人	C

魅力あふれるまち 施策３－１ 区民のふれあいと交流の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合	62.7%	70%	66.4%	47.7%	D
区民まつり来場者アンケートにおける満足度	95.7%	95%以上	95%以上	—	—

魅力あふれるまち 施策３－２ まちの魅力の発掘・発信

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和３年度基準値	令和３年度実績値	評価
まちの魅力を発掘・発信する取り組みが進んでいると思う区民の割合	42.8%	50%	46.4%	43.7%	C
S N Sによる発信件数	65 件	80 件	73 件	100 件	A

(2) 事業ごとの評価及び進ちょく状況

令和3年度の区政運営方針において、事業シートに掲載したすべての事業について計画目標を定め、その評価を行いました。(詳細は各事業シートをご覧ください。)

めざすまちの姿	評価別事業数				
	☆☆☆	☆☆	☆	—	合計
安心・安全きれいなまち	11	4	0	0	15
みんなにやさしいまち	10	6	5	0	21
魅力あふれるまち	4	3	2	1	10
その他の取り組み	4	1	0	0	5
合計	29	14	7	1	51

(注) 計画目標に対して実際にどの程度実施したかを以下の記号で示しています。

記号	基準
☆☆☆	当初計画に対し、おおむね十分に実施できたもの [当初計画の事業量に対して概ね8割以上]
☆☆	当初計画に対し、やや不足が見受けられたもの [当初計画の事業量に対して概ね5割以上8割未満]
☆	当初計画に対し、不足が見受けられたもの [当初計画の事業量に対して5割に満たない]
—	当初計画を全く実施できなかったもの(新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたもの等を含む)

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、当初計画の事業は実施できず、代替事業を行った場合は、当該事業の効果を考慮の上、「☆☆」または「☆」で評価しています。

※事業名及び横に記載の数字は、令和３年度のものになります。

事業名		進ちよく
1 安心・安全きれいなまち		
施策１－１ 地域防災力の向上		
1	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた適切な避難活動に係る計画策定等の支援	☆☆☆
2	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた各種訓練の支援	☆☆☆
3	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③各種講習の実施等を通じた地域防災活動の支援	☆☆☆
4	「地域防災マネジメント事業」の推進に係る消防署との連携	☆☆☆
5	災害対応体制の強化	☆☆
6	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業	☆☆☆
7	防災協力農地の登録・周知の推進	☆☆
施策１－２ 防犯対策・交通安全対策の推進		
8	防犯対策の推進	☆☆☆
9	地域における自転車パトロールの推進	☆☆☆
10	交通安全対策の推進	☆☆☆
11	地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業	☆☆☆
12	自転車乗車時のヘルメット着用推進	☆☆☆
施策１－３ 快適に暮らせる環境づくり		
13	クリーンキャンペーンの実施	☆☆
14	空地・空家等の適切な管理の推進	☆☆☆
15	ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	☆☆

事業名		進ちよく
2 みんなにやさしいまち		
施策２－１ 子育て環境の充実		
16	子育て支援に関する情報発信	☆☆
17	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	☆☆☆
18	乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	☆☆☆
19	子育て支援講座の開催	☆☆
20	若年の親や発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	☆
21	子育て家庭向け交流イベントの開催	☆
22	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	☆
23	地域の子育てサロンの運営支援	☆
24	児童虐待防止の推進・啓発	☆☆☆
25	キッズコーナー「すまいる」	☆☆☆
施策２－２ 子ども・青少年の健全育成		
26	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	☆☆☆

27	子ども会活動への支援	☆
28	思春期セミナーの実施	☆☆☆
29	高校生向け思春期保健事業	☆☆☆
30	生活保護世帯等の中学生の学習支援	☆☆
施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり		
31	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	☆☆☆
32	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	☆☆
33	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	☆☆☆
34	障害者の地域生活支援	☆☆☆
35	障害の理解の促進	☆☆
36	区民の健康づくりの推進	☆☆

事業名		進ちよく	
3 魅力あふれるまち			
新	施策3-1 区民のふれあいと交流の推進		
	37	区民まつりの開催	—
	38	スポーツ・生涯学習の推進	☆
	施策3-2 まちの魅力の発掘・発信		
	39	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～	☆☆☆
	40	川を生かしたまちづくり	☆☆
	41	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	☆☆☆
	42	まちの歴史文化を伝える・広める	☆
	43	ナッピーによるふれあい・啓発活動	☆☆☆
	44	ベジファーマーの育成	☆☆
	45	地域の特産農産物の PR	☆☆
	46	さまざまなメディアを活用した情報発信	☆☆☆

事業名		進ちよく	
その他(めざすまちの姿の実現に向けての取り組み)			
	1 つながりづくり♡まちづくり		
	47	町内会・自治会の加入促進	☆☆☆
	2 住民に身近な総合行政機関		
	48	区民の声を区政に反映	☆☆
	49	利用しやすい区役所づくりの推進	☆☆☆
	50	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	☆☆☆
	51	季節の花でおもてなし	☆☆☆

4 令和4年度の主な予算

(1) 自主的・主体的な区政運営にかかる予算

各区が自主的・主体的に地域づくりを推進するための事業

区 分	主な取り組み内容	予算額 (千円)
安心・安全 きれいなまち	○「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ○防犯対策の推進 ○地域における自転車パトロールの推進	1,060
みんなに やさしいまち	○子育て支援に関する情報発信 ○地域における子育て支援の人材育成と活動促進 ○高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	1,991
魅力 あふれるまち	○区民まつりの開催 ○川を生かしたまちづくり ○中川区みんなで歌おう第九コンサート	6,812
その他の 取り組み	○町内会・自治会の加入促進 ○区民の声を区政に反映 ○地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	980
合 計		10,843

(2) 区の特性に応じたまちづくり事業にかかる予算

歴史・風土等区の特性に基づいて、区が主体となって実施する事業

取り組み内容	予算額 (千円)
○川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～	4,000

5 区まちづくり基金

皆さまの区のまちづくりへの想いを生かして、まちづくりをすすめていくための基金です。

詳しくは区情報コーナーにあるリーフレットをご覧ください。市公式ウェブサイトで「区まちづくり基金」を検索してください。

6 関係公署（所）の取り組み

●中川警察署

電話 354-0110

「安心」して暮らせる「安全」な中川区を実現するため、犯罪の検挙に努めるほか、区民の皆さまと防犯活動に取り組むとともに、交通指導取締りや交通安全教室の充実などにより、犯罪、交通死亡事故抑止に努めます。

●中川消防署

電話 363-0119

大規模地震などの大規模災害に備えるため職員と消防団員の連携を密にして、地域防災力の更なる向上を図るため自主防災組織の訓練を行い、地域にある事業所と支援協力を促進します。

また、消防署に見学スペースを設けて、親しまれ開かれた消防署をめざしています。

●中川環境事業所

電話 361-7638

「快適できれいなまち」をめざして、確実なごみ・資源・し尿収集を行うとともに、区民の皆さまとの協働により、不法投棄及びごみ散乱の防止に努めます。

また、区民まつりや転入者向けに開設する「ごみ案内所」などの機会に、ごみ・資源の分別について分かりやすく周知します。

●中川土木事務所

電話 361-7581

道路・公園・河川の施設について、計画的な維持管理を行うことにより区民の皆さまの安心安全の確保に努めます。

また、皆さまから寄せられる通報や要望に対して速やかな対応に努めます。

●上下水道局中川営業所

電話 352-2511

地震などの大規模災害に備えて、災害用備蓄飲料水「名水」を販売し、飲料水の備蓄を呼びかけるとともに、防災訓練などに積極的に協力することで、防災意識の啓発を図ります。

●中川区社会福祉協議会

電話 352-8257

中川区における福祉のまちづくりやボランティア活動の活性化を区民の皆さまと共に考えて取り組み、地域福祉を推進します。

●中川生涯学習センター

電話 362-3883

地域の生涯学習の拠点として、区の魅力・特色を活かしたまちづくりや防災等に関する講座・事業の実施及び自主学習グループの活動の支援など、区民の交流と地域活動の発展に努めます。

●中川図書館

電話 353-5311

富田図書館

電話 432-5313

区内の各種資料・情報を収集・整理するとともに、市民の生活に役立つ図書館をめざして、多くの方に利用される図書館づくりに努めます。

●中川文化小劇場

電話 369-1845

開館20周年。これからも地域文化の拠点として、市民文化活動や舞台発表の支援に取り組みます。

また、多様な舞台鑑賞の機会を拡大することで、くらしに文化と感動を届け、地域の文化振興と活性化を推進します。

●露橋スポーツセンター

電話 362-4411

スポーツを身近に感じていただけるよう「スポーツ教室」の開催、「運動指導者の派遣」、無料開放イベント「スポセンまるごとフェスティバル」などを行います。今後も地域に密着したスポーツ活動の推進に取り組みます。

●富田北プール

電話 431-8991

幅広い年代で楽しめる「ボッチャ」などスポーツに親しむきっかけづくりや、健康づくりの推進のため、安全で快適な施設運営を行います。さまざまな年齢層を対象とした各種スポーツ教室や、無料開放イベント「富田北プールまるごとフェスティバル」を行うなど、多くの方が気軽に参加できる講座などを企画、開催します。四季の気温に応じた快適な水温室温で温水プールを運営します。

●西部児童相談所

電話 365-3231

子どもの福祉を図るとともにその権利を擁護するために、区役所・支所等と適切な協働・連携・役割分担を図りつつ、子どもに関する家庭その他からの相談に応じ、子どもが有する問題または子どもの真のニーズ、子どもの置かれた環境の状況等を的確に捉え、個々の子どもや家庭に適切な援助を行います。

7 区役所の組織及び連絡先

所属	課・室	係・担当	電話	事業 No.
中川区役所	総務課	防災担当	363-4309	1, 2, 3, 4, 5, 6
		庶務係	363-4306	50, 51
		統計選挙係	363-4311	—
	中川農政課	農政担当	363-4360	7, 46, 47, 53
	企画経理室		363-4383	50
	地域力推進室	地域力推進係	363-4319	8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 49
		生涯学習担当	363-4326	26, 38, 53
		安心・安全で快適なまちづくりの企画担当	363-4321	37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 48
	市民課	戸籍係	363-4332	—
		住民記録係	363-4334	—
	民生子ども課	民生子ども係	363-4402	27
		子ども家庭支援担当	363-4413	16, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25
		保護係	363-4407	30
	福祉課	高齢福祉係	363-4415	31, 32, 33
		障害福祉係	363-4403	34, 35
	保険年金課	管理係	363-4343	—
		保険係	363-4346	—
富田支所	区民生活課	庶務係	301-8365	43, 52, 53
		市民係	301-8241	—
	区民福祉課	保護・子ども係（児童担当）	301-8361	—
		保護・子ども係（保護担当）	301-8366	—
		福祉係（高齢担当）	301-8376	—
		福祉係（障害担当）	301-8378	—
		保険係	301-8143	—
中川保健センター	健康安全課	企画管理係	363-4452	—
		食品衛生・動物愛護等担当	363-4457	15
	保健予防課	保健感染症係	363-4461	—
		公害保健担当	363-4464	—
		感染症対策等担当	363-4462	36
		保健看護担当	363-4465	17, 20, 28, 29
	富田分室		303-5321	—

名古屋市中川区役所 企画経理室

〒454-8501 名古屋市中川区高畑一丁目223番地

電 話 : 052-363-4383 FAX : 052-363-4316

E-mail : a3634304@nakagawa.city.nagoya.lg.jp